

ボリビア共和国
母子保健に焦点を当てた
地域保健ネットワーク強化プロジェクト
事前評価調査及び実施協議報告書

平成16年3月
(2004年)

独立行政法人 国際協力機構
医療協力部

医協二
JR
04-13

序 文

ボリビア共和国政府は、貧困削減、乳幼児死亡率、妊産婦死亡率の改善等国际目標（ミレミアム開発目標 MDGs）の達成に向けて、ボリビア版貧困削減戦略（EBRP）を推進しています。保健スポーツ省は、母子保険制度の拡大、保健セクターへの住民参加促進、地方自治体を基盤とした保健サービスと医療施設のネットワーク強化、健康推進を保健政策の優先課題にあげ、ユニバーサル母子保健法（SUMI）を2003年1月から実施し、5歳以下の乳幼児と妊産婦に基礎的医療サービスを無償で提供することになりました。また、先行して実施された大衆参加法や地方分権化法に倣い、地域保健委員会（DILOS）を各市の保健政策最高権力と位置づけ、保健政策・保健プログラムの実権を地方自治体に移管することになりました。

首都ラパス市では、母子に係る基本的医療サービスが無料となったにもかかわらず、妊娠や出産時に医療機関を受診しないケースが全体の約40%を占めるなど、母子保健に係る妊産婦死亡や乳幼児死亡の保健指標は全国平均以下となっています。これらの状況を改善すべく、ボリビア共和国政府は、ラパス市内で本来1次施設で診るべき患者が2次・3次医療施設へ集中する状況を改善し、母子が1次医療施設での公的医療サービスを安心して享受できるための、人材トレーニングを主体とした技術協力を要請しました。

これを受け、国際協力機構は2003年12月に事前評価調査団を派遣し、2003年12月23日に現地実施協議（ミニッツ署名）を行い「ラパス市母子保健に焦点を当てた地域保健ネットワーク強化」プロジェクトが正式に開始されました。

ここに、本調査にあたりご協力を賜りました関係各位に対しまして、深甚なる謝意を表すとともに、今後のプロジェクトの円滑な実施にあたり、関係各位の更なるご協力をお願いする次第です。

平成16年3月

独立行政法人 国際協力機構
医療協力部 次長 橋爪 章

目 次

序 文

目 次

事業事前評価表（技術協力プロジェクト）

1. 調査団派遣の背景及び目的	1
2. 調査団の構成	1
3. 調査日程	2
4. 主要面談者リスト	3
5. 調査項目	5
6. 調査結果総括	5

付属資料

1. 事前評価調査ミニッツ（スペイン語）	9
2. 事前評価調査ミニッツ（和訳）	21
3. 実施協議ミニッツ（スペイン語）	30
4. 実施協議ミニッツ（和訳）	49
5. 事前評価調査団会議録	69
6. 短期専門家（母子保健）報告書	105

事業事前評価表（技術協力プロジェクト）

作成日：2003年12月22日

担当部：医療協力部 医療協力第二課

案 件 名：ラパス市母子保健に焦点を当てた地域保健ネットワーク強化	
対 象 国：ボリビア共和国	実施地域：ラパス市（首都）
実施予定期間：2004年1月～2005年12月（合計2年間）	
1. プロジェクト要請の背景 <p>ボリビア共和国（以下、「ボリビア」と記す）政府は、貧困削減、乳幼児死亡率、妊産婦死亡率の改善等国际目標（ミレミアム開発目標 MDGs）の達成に向けて、ボリビア版貧困削減戦略（EBRP）を推進している。これを受けて保健スポーツ省は、母子保険制度の拡大、保健セクターへの住民参加促進、地方自治体を基本とした保健サービスと医療施設のネットワーク強化、健康推進を保健政策の優先課題にあげている。具体的には基礎健康保険の拡大のため、ユニバーサル母子保健法（SUMI）を2003年1月から実施し、そのなかで、5歳以下の乳幼児と妊産婦に基礎的医療サービスを無償で提供することとなった。また、先行して実施された大衆参加法や地方分権化法に倣い、地域保健委員会（DILOS）を各市の保健政策最高権力と位置づけ、保健政策・保健プログラムの実権を地方自治体に移管することとなった。</p> <p>首都ラパス市は政府機関や国際機関が集まる中心都市であるにもかかわらず、母子保健に係る妊産婦死亡率や乳幼児死亡率の保健指標はボリビア国平均を上回っており、母子が適切な保健医療サービスを享受できていない実態や貧困の深刻さを反映している。ラパス市ではSUMI実施で母子に関する基本的医療サービスが無料となったにもかかわらず、妊娠や出産時に医療機関を受診しないケースが全体の約40%を占め、このことが出産や妊娠に関する死亡率を高めるひとつの要因ともなっている。そして、市内各地区にある1次医療施設が地域住民の信頼を得ていないため、本来1次施設で診るべき患者が2次・3次医療施設へ集中する状況を改善し、母子が身近な1次医療施設による公的医療サービスを安心して享受できる環境づくりが急務となっている。そこで、ボリビア政府は我が国に対し、対象地域（ラパス市）における妊産婦及び乳幼児死亡率を低減するため、それら状況の改善に係る技術協力を要請した。</p>	
2. 相手国実施機関 <p>プロジェクト監督機関：保健スポーツ省 プロジェクト実施機関：ラパス市、ラパス市 DILOS、第1保健ネットワーク、第2保健ネットワーク</p>	
3. プロジェクトの概要及び達成目標 <p>(1) 達成目標</p> <p>1) プロジェクト終了時の達成目標（プロジェクト目標）</p> <p>【目 標】 ラパス市の第1及び第2保健ネットワークの1次レベル保健医療サービスが母子保健分野を中心に改善される。</p> <p>【指 標】 1. 妊婦健診受診率 2. 妊婦検診実施カバー率 3. 乳幼児健診実施カバー率</p>	

4. 施設内分娩総数のうち1次医療施設が占める割合

2) 協力終了後に達成が期待される目標（上位目標）

[目 標] ラパス市の母子の健康状態が改善される。

- [指 標] 1. 妊産婦死亡率
2. 乳幼児死亡率

(2) 成 果（アウトプット）と主な活動

上記目標達成のため、以下のような成果をめざした活動を行う。

[成 果]

1. ラパス市の第1及び第2保健ネットワークにおける母子に対するケアの質が向上する。
〔指標：世界保健機関（WHO）の出産に関する勧告に基づいたサービスの実践割合〕
2. パイロット保健センターにおける母子保健活動が住民参加の下強化される。
〔指標：利用者のサービス満足度、住民から提案された母子保健活動の伸び〕

[活 動]

- 1-1 パイロット保健センターが、提供しているケアの質についての課題を認識する。
- 1-2 第1及び第2保健ネットワークにおいて妊娠・出産時（特に分娩第1期）のケアのトレーニングを行う。
- 1-3 第1及び第2保健ネットワークにおいて新生児ケア・母乳育児支援についてのトレーニングを行う。
- 1-4 実施されたトレーニングに対するモニタリング・評価フローを作成し、実施する。
- 1-5 実施されたモニタリング・評価に基づき、受講者に対する継続的なフォローを行える体制を整える。
- 1-6 第1及び第2保健ネットワーク内の1次医療施設が有する機材のインベントリーが行われ、それらの使用が適正化される。

- 2-1 パイロット保健センターが、地域住民の健康状態とサービスの現状についての課題を認識する。
- 2-2 パイロット保健センターが、担当地域の保健リソースを把握する。
- 2-3 パイロット保健センターが、女性と子供に関する地域保健集会を開く。
- 2-4 地域保健集会で提案された母子保健に関する活動を実現する。
- 2-5 パイロット保健センターが既存の健康教育教材を整理し、住民への啓発活動に用いる。
- 2-6 地域保健集会及び住民参加活動に対するモニタリング・評価の仕方について、パイロット保健センターが試行モデルを作成する。
- 2-7 試行モデルに基づいて実施したモニタリング・評価結果を、DILOS及び保健ネットワークレベルで発表する。
- 2-8 パイロット保健センターが住民のニーズに基づいた年間計画（POA）を作成し、保健ネットワークへ提出する。

(3) 投 入 (インプット)

1) 日本側

長期専門家派遣	(チーフアドバイザー、保健コーディネーター 48M/M)	約 6000 万円
短期専門家派遣	(本邦及び第三国専門家 助産技術、地域保健行政、看護など 16M/M)	約 1,600 万円
研修員受入	(助産技術 4 M/M)	約 840 万円
機材供与	(教材作成用視聴覚機材、1次医療資機材等)	約 500 万円
現地業務費	(活動費、セミナー開催等)	約 800 万円
	総 額	約 9,740 万円

2) 相手国側

カウンターパート (C/P) の配置 (市保健局あるいは DILOS レベル、保健ネットワークレベル)
プロジェクト執務環境の提供
ローカルコスト負担 (電気・光熱・水道等設備維持管理費、通信運搬費)

(4) 実施体制

現地実施体制

プロジェクト実施にあたり、前年度の振り返り・年間実施計画の詳細決定等を目的とした「合同調整委員会」(Joint Coordination Committee : JCC) 及びそれを受けて実際にモデル地域 (第 1・第 2 地域保健ネットワーク) において活動を実施する「実施委員会」(Implementation Committee : IC) を設置する。

JCC はプロジェクトの円滑な推進、プロジェクト成果のインパクト・自立発展性を確保するために、戦略的なテーマに関する決定を下すとともに計画の大方針を策定する。

IC では、開始当初に作成した活動計画 (アクションプラン) に従い、活動を展開するなかで、当初計画の修正や付加なども同委員会での協議を経つつ検討・実施される。

JCC 及び IC の構成は以下のとおりである。

1) JCC

議 長：保健スポーツ省保健次官

副議長：ラパス市長、プロジェクトチーフアドバイザー (JICA)

ボリビア側：

- ① 市 DILOS 長
- ② 県保健局 (SEDES) 局長
- ③ 市保健局長
- ④ 住民監視委員会代表
- ⑤ 第 1 及び第 2 保健ネットワーク代表
- ⑥ ミラフローレス複合病院群委員会委員長
- ⑦ ラパス病院長

日本側：

- ① JICA ボリビア事務所長

② プロジェクト専門家

2) IC

議長：DILOS 長

副議長：SEDES 局長、住民監視委員会代表、プロジェクトチーフアドバイザー（JICA）

ボリビア側：

- ① 市保健局長
- ② 市保健区システム課長
- ③ 第1及び第2保健ネットワーク代表
- ④ ラパス病院長
- ⑤ 第1及び第2保健ネットワーク医療施設長代表
- ⑥ パイロット施設長及び看護師長

日本側：

- ① プロジェクト専門家

オブザーバー側：

- ① 保健スポーツ省関係者
- ② ミラフローレス複合病院群委員会委員長
- ③ ラパス市内他の保健ネットワーク代表
- ④ ラパス病院関係者
- ⑤ CNS 母子病院関係者
- ⑥ 第1及び第2保健ネットワーク関係者
- ⑦ 青年海外協力隊（JOCV）隊員

4. 評価結果（実施決定理由）

以下の視点からプロジェクトを評価した結果、協力を行うことは必要かつ妥当と判断される。

(1) 妥当性：非常に高い。

1) 被援助国のニーズと妥当性

2002年6月に国際通貨基金（IMF）と世界銀行に正式に承認されたボリビア版EBRPに、プライマリー・ヘルス・ケア（PHC）及び母体ケア推進が主要目標として盛り込まれており、また2002年8月のサンチェス・デ・ロサダ政権発足後も地方分権を進める地方分権化法、住民参加を促す大衆参加法、母子保険制度を拡大するSUMIが実施されるなど、保健政策の優先課題として地方自治体レベルでの保健サービスの向上、保健ネットワーク強化、住民参加推進があげられた。これらは、MDGsのうち母子保健改善に係る目標達成に強く関係づけられており、妊産婦死亡率及び乳幼児死亡率の低減のために適切な医療サービスが地域レベルで享受できる環境づくりはボリビア政府及び（ラパス市役所含めた）地方自治体にとって優先度の高い開発課題である。なお本プロジェクトは地方自治体の保健行政（市保健局・DILOS）のシステム強化、母子保健の改善及び住民参加の促進を前提としたプロジェクトであり、その意味でもボリビア政府の開発課題に整合したものである。

2) 日本の援助事業としての妥当性

2002年に実施されたJICAのボリビア国別事業評価では、基本的な保健医療サービスの強化と格差是正が戦略としてあげられ、これは本プロジェクトの基本指針と整合している。また、深刻な2次・3次レベル医療施設への患者集中を改善し、各レベル医療施設

が本来的な機能を取り戻し、住民が適切な医療機関で適切な医療サービスを楽しむことができる状況をつくり出すことや、地方保健行政機能を強化すること等をあげたJICA ボリビア事務所の開発課題／協力プログラム「地域保健ネットワーク強化プログラム (PROFORSA)」にも位置づけられている。さらに、1次レベル医療施設サービス改善、同時に1次レベルからみた2次・3次レベルのサービス改善及び各レベル医療施設のネットワーク強化等、総合的なアプローチの必要性を提案した2003年度ボリビア国別援助研究(国際協力総合研修所)にも整合している。

3) 手段としての適切性 (開発課題に対して効果をあげる戦略として適切か)

1990年代までの我が国のボリビアへの保健医療協力は2次・3次レベル保健医療サービスの整備・強化を目的としたものが主流であった。このような我が国の取り組みは、疾病ごとや医療レベルごとの個別イシューを対象としたものが多く、1次レベル保健医療協力中心の他ドナーとの連携も十分とはいえなかったため、ボリビアにおける保健医療機関の運営能力・行政能力強化に繋がらなかった経緯がある。また、1次保健医療サービスへの地域住民の信頼を高めることが、より適切かつ効率的な2次、3次レベル保健医療サービスの提供に繋がることから、PROFORSAにおける1次レベル強化は戦略的アプローチとしての妥当性が高い。あわせて、協力期間(2年間)及び規模(総額約1億円)にかんがみ、市内5地区(=保健ネットワーク)のうち、2つの保健ネットワークにおける改善モデルづくりを狙うプロジェクトデザインは技術協力のアプローチとしての妥当性が高い。

なお、本プロジェクトは地方分権化法、大衆参加法、SUMI等の国家戦略にのっとり、地方自治体の既存リソース(各種医療施設等ハード面、保健委員会や母親会などのソフト面)を活用して現地の人材のキャパシティ・ビルディングを行うものであり、市保健局やDILOSの機能を強化する手段として適切と判断される。

(2) 有効性：高い。

プロジェクト目標(「ラパス市の第1及び第2保健ネットワークにおける1次レベル保健医療サービスが母子保健分野を中心に改善される」)の指標として、①妊婦健診受診率、②妊婦検診実施カバー率、③乳幼児健診実施カバー率、④施設内分娩総数のうち1次医療施設が占める割合を設定している。その達成のためには、医療サービス供給者側におけるケアの質が向上すること(成果1)及び、利用者である住民参加の下に地域保健サービスが強化されること(成果2)により、地域住民から信頼されかつ利用される1次医療施設の増加が必要である。そして、そのようなサービス提供者側の質向上と利用者側の満足度／参加度の向上を図る指標として、「WHOの出産に関する勧告に基づいたサービスの実践割合」(成果1)と「利用者のサービス満足度、住民から提案された母子保健活動の伸び」(成果2)が設定されている点は、適切と判断される。

(3) 効率性：非常に高い。

本プロジェクトの対象地域は首都ラパス市内の2つの保健ネットワーク(保健区)であり、それぞれ、17万2,272人(第1保健ネットワーク)、19万1,085人(第2保健ネットワーク)が居住している。このうち、公的医療サービスの対象者は社会保険等各種保険を有しない貧

困住民（世帯）であり、住民の約4割にあたる15万人に達する。本プロジェクトの直接／間接裨益対象者は、これら15万人であり、プロジェクト総額（約1億円）にかんがみ費用対効果は非常に高いといえる。また、本プロジェクトにおいては、大型医療機材や施設建設などの投入を行わず、社会的・文化的に近似性のある日系ブラジル人第三国短期専門家投入や、同地域で活動するJOCVとの連携を強化していくことで、さらに効率性が高まると判断される。

(4) インパクト：高い。

1) 上位目標の達成見込み

本プロジェクトの上位目標は「ラパス市の母子の健康状態が改善される」で、指標として「妊産婦死亡率」及び「乳幼児死亡率」の低減（602／10万→542／10万、86/1,000→77/1,000）を設定している。対ボリビアPROFORSAのひとつとして位置づけられる本プロジェクトでは、協力コンセプトとしてPROFORSAでも使用している「4C（Calidad：質、Calidez：温かさ、Confianza：信頼、Colaboración：協力）の推進」を掲げている。プロジェクトを通じて、1次医療サービスにおける医療従事者の接遇向上、母子保健を中心としたケア向上、住民と医療従事者の信頼関係構築のモデルを提示し、並行してプログラムアプローチの活用（現地国内研修、JOCV、他プロジェクト等との連携、4Cスローガンの普及など）と組み合わせることで、上位目標の達成見込みは高いと思われる。

2) 正のインパクトの見込み

行政機関、各種メディア及び他ドナーの集中する首都ラパス市において、医療従事者と住民の横の関係、県～市～保健ネットワーク～地域住民の縦の関係が相互に連携強化されることで、住民参加型地域保健行政のグッドモデルとして他の自治体（特にコチャバンバ、サンタクルス、スクレ等拠点都市）へも波及効果をもたらすことが期待できる。ただし、正のインパクトを高めるためにも、①プログラムアプローチの活用、②積極的な他ドナー・大学・NGO等ローカルリソースとの連携強化、③各種広報メディアやセミナー参加を通じた協力成果の紹介などの取り組みが必要である。

(5) 自立発展性：高い。

ボリビア政府は、地方分権化法、住民参加を促す大衆参加法、母子保険制度を拡大するSUMIを導入するなど、地方自治体レベルでの保健サービスの向上及び住民参加の促進を掲げている。具体的には、予算の確保と執行を市レベルで可能とすることで、市を中心とした行政決定権の強化を図っている。本プロジェクトは地方自治体の保健行政（市保健局・DILOS）の計画立案能力の強化、1次医療施設におけるサービス改善及び保健活動への住民参加の促進を柱としたプロジェクトであり、ボリビア政府が進める行政機能の地方分権化に即したデザインになっている。また、プロジェクトでは、社会的、文化的な類似性を有するブラジル日系人第三国専門家の効果的活用や、1次レベル医療施設に求められる妊産婦の健康増進、EBMに基づく助産技術の指導を通じて、ラパス市に適応したモデルをともに構築する。

これらのことから、本プロジェクト終了後もラパス市において1次レベル保健サービスの改善が自立的に発展することが期待できる。なお、市保健局には一定の予算が割り当てら

れているため財政的な自立発展性は高いが、人事権が県保健局に属しているため、既存の人材で効率的な活動が実施できるための環境整備や、県保健局の積極的な巻き込みを図り、キャパシティ・ビルディングをめざしていく課題は残っている。

5. 外部要因リスク（外部条件）

ボリビア政府による母子保健分野に対する大幅な政策変更が行われない。

地域保健行政システム〔DILOS-保健ネットワーク（Red）〕が大きく変更されない。

6. 今後の評価計画

(1) 今後の評価に使う指標

プロジェクト開始時点では下記のような指標が設定されたが、プロジェクト目標の達成度を測る対象（指標の種類）のみが決定されており、達成時期や達成レベルは確定していない。今後のプロジェクト活動のなかでより詳細かつ具体的な指標を早期に設定し、活動のモニタリングを行う必要がある。

〈プロジェクト目標の指標〉

1. 妊婦健診受診率
2. 妊婦検診実施カバー率
3. 乳幼児健診実施カバー率
4. 施設内分娩総数のうち1次医療施設が占める割合

(2) 評価スケジュール

終了時評価（2005年8～9月ごろ）を予定

1. 調査団派遣の背景及び目的

ラパス市はボリビア共和国（以下、「ボリビア」と記す）の首都であり、政府機関や国際機関が集まる中心都市であるにもかかわらず、新生児死亡率や乳幼児死亡率などはボリビア平均を上回っており、住民の大部分が住む地域の貧困の深刻さを反映している。政府は、「ユニバーサル母子保健（SUMI）」の導入に伴い、5歳以下の乳幼児と妊産婦に対する医療サービスを無償で提供するとしているが、妊娠や出産時に医療機関を受診しないケースが全体の約40%を占め、このことが出産や妊娠に関する死亡率を高めるひとつの要因ともなっている。

本プロジェクトの対象地域は、ラパス市にあり23万人以上が居住するにもかかわらず第2次レベル医療機関が存在しない第1保健ネットワーク（Red 1）、20万5,000人が居住し市内唯一の第2次レベル医療施設が存在する第2保健ネットワーク（Red 2）であるが、対象地域における妊産婦及び乳幼児死亡率を低減するため、ボリビア政府は我が国に対し、母子保健に焦点を当てた医療ネットワーク構築にかかる技術協力を要請した。

これを踏まえ、同国の地域保健ネットワーク強化を支援するためにはどのような協力方法、内容が最も適切であるかを具体的に検討及び評価することを目的として、国際協力機構は、2003年12月4～21日にかけて、藤原 美幸氏を団長とする事前評価調査団を派遣した。

2. 調査団の構成

分野	氏名	所属
団長：総括／母子保健対策	藤原 美幸	
団員：保健協力計画	坪井 創	独立行政法人 国際協力機構 医療協力部 医療協力第二課 職員

3. 調査日程

月 日	曜日	日 程
12月 4日	木	成田空港発
12月 5日	金	12:35 ラパス着 13:30 ホテルチェックイン 15:30 JICA ボリビア事務所表敬訪問 16:30 在ボリビア日本大使館表敬訪問
12月 6日	土	10:00 団内ミーティング、資料整理
12月 7日	日	調査準備、資料収集
12月 8日	月	10:00 ラパス市庁表敬訪問 11:00 保健スポーツ省表敬訪問 14:30 プロジェクトレベルミーティング
12月 9日	火	9:00 第1保健ネットワーク視察 14:30 ワークショップ準備
12月 10日	水	9:00 第2保健ネットワーク視察 14:30 ワークショップ準備
12月 11日	木	9:00 プロジェクトレベルミーティング 14:30 ワークショップ準備
12月 12日	金	9:00 ワークショップ地域保健委員会 (DILOS) メンバー 14:30 プロジェクトレベルミーティング
12月 13日	土	10:00 ミーティング
12月 14日	日	資料整理、ミニッツ案作成
12月 15日	月	9:00 ワークショップ第1・第2保健ネットワーク代表 14:30 プロジェクトレベルミーティング
12月 16日	火	9:00 プロジェクトレベルミーティング 13:00 ワークショップ保健センターレベル 16:00 プロジェクトレベルミーティング
12月 17日	水	9:00 国連人口活動基金 (UNFPA) 表敬訪問 10:30 国連児童基金 (UNICEF) 表敬訪問 15:00 ミニッツ署名 16:30 JICA ボリビア事務所報告
12月 18日	木	9:00 在ボリビア日本大使館報告 13:30 ラパス発
12月 19日	金	サンパウロ着、JICA サンパウロ事務所ミーティング サンパウロ発
12月 20日	土	(機中移動)
12月 21日	日	成田空港着

4. 主要面談者リスト

	氏 名	所 属	肩 書
ラパス市役所			
1	フアン・デル・グラナド	ラパス市役所	ラパス市長
2	エドガー・トーレス	ラパス市役所	DILOS 長
3	イグナシオ・カバリェロ	ラパス市保健局	保健局長
4	フランツ・タマヨ	ラパス市保健局	保健システム課長
5	ロクサナ・エスコバル	ラパス市保健局	保健システム担当
ラパス県			
6	エリック・マチカド	ラパス県保健局	県保健局長
7	ジョニー・モリネド	ラパス県保健局	事務局長
8	ニコラス・ケンタ	ラパス県庁	ラパス県知事
その他			
9	オスカー・ラライン	保健スポーツ省	副大臣
10	マリア・エウヘニア・フラド	VIPFE	融資担当アナリスト
11	ヘクトル・アルセ・イバニェス	住民監視委員会	代 表
第1保健ネットワーク			
12	フアン・デ・ディオス・サンチェス	第1保健ネットワーク代表部	第1保健ネットワーク代表
13	ロナルド・トゥフィニョ	第1保健ネットワーク代表部	人事担当責任者
14	エリザベス・テラサス	第1保健ネットワーク代表部	行政担当責任者
15	ハイメ・グティエレス	第1保健ネットワーク代表部	統計担当責任者
16	アルヴィン・ヴァレンシア	第1保健ネットワーク代表部	疫学担当責任者
17	ヘマ・チュキミア	第1保健ネットワーク代表部	看護担当責任者
18	アンヘル・サーベドラ	テンブラデラニ母子保健センター	センター長
19	ビセンタ・モロコ	テンブラデラニ母子保健センター	看護師長
20	グラディス・A・フェルナンデス	テンブラデラニ母子保健センター	看護師
21	オルガ・バルガス・モンタニョ	テンブラデラニ母子保健センター	准看護師
22	シルヴィア・メンドサ・ルイス	テンブラデラニ母子保健センター	医 師
23	フリオ・セサール・ロリャノ	ビリャヌエバポトシ母子保健センター	センター長
24	ロヘル・モンテシノス	ビリャヌエバポトシ母子保健センター	内科医師
25	ハビエル・二ナ	ビリャヌエバポトシ母子保健センター	准看護師
26	アデラ・カリエハス	ビリャヌエバポトシ母子保健センター	看護師長
27	フアン・デ・ディオス・コロンバ	ビリャヌエバポトシ母子保健センター	小児科医師
28	マルタ・バルガス	ビリャヌエバポトシ母子保健センター	歯科医師
第2保健ネットワーク			
29	ロズマリー・ユパンキ	第2保健ネットワーク代表部	第2保健ネットワーク代表
30	エウヘニア・マイタ	第2保健ネットワーク代表部	疫学担当責任者
31	シルヴィア・カレアガ	第2保健ネットワーク代表部	統計担当責任者

	氏 名	所 属	肩 書
32	ヒル・バプティスタ	ラポルタダ母子保健センター	センター長
33	エリザベス・バルデラマ	ラポルタダ母子保健センター	看護師長
34	ノラ・マグネ	ラポルタダ母子保健センター	准看護師
35	レイラ・カリエガス	ラポルタダ母子保健センター	婦人科医師
36	エマ・モギネド	ラポルタダ母子保健センター	歯科医師
37	ホルヘ・トロ	エルテハール母子保健センター	病院管理
38	ヘルマン・サンブラナ・ニエト	エルテハール母子保健センター	内科医師
39	ベルナルド・ロハス	エルテハール母子保健センター	准看護師
40	ルクレシア・コパ・ママニ	エルテハール母子保健センター	看護師
41	アベル・メルガレホ・トゥルヒリョ	エルテハール母子保健センター	産婦人科医師
42	ベンハミン・クシ・クティ	エルテハール母子保健センター	内科医師
ラパス病院			
43	テオフィロ・オバンド	ラパス病院	病院管理
44	フランツ・ユガール	ラパス病院	小児科医師
45	ヘスス・モンテリャノ	ラパス病院	婦人科医師
JICA ボリビア事務所			
46	永井 和夫	JICA ボリビア事務所	所 長
47	佐藤 真司	JICA ボリビア事務所	所 員
48	カルロス・オモヤ	JICA ボリビア事務所	技術協力担当職員
49	ギド・モナステリオ	JICA ボリビア事務所	在外専門調整員
50	吉永 めぐみ	JICA ボリビア事務所	青年海外協力隊調整員
51	中野 敦彦	JICA ボリビア事務所	青年海外協力隊調整員
52	佐々木 律子	JICA ボリビア事務所	健康管理員
在ボリビア日本大使館			
53	山本 哲史	在ボリビア日本大使館	参事官
54	小野 孝幸	在ボリビア日本大使館	書記官
UNFPA			
55	イヴァン・プルデンシオ	UNFPA ボリビア事務所	次 長
UNICEF			
56	ミリアン・ロペス	UNICEF ボリビア事務所	保健担当

5. 調査項目

2003年4～7月に派遣された母子保健短期専門家（田中 幸恵氏）による対象地域の現地調査を基にしたプロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）案及び活動計画（PO）案の報告を踏まえ、それらの精緻化を行った。それら協力計画の実施妥当性及び可能性については、DILOS、ラパス市保健局、第1、第2保健ネットワークとの協議を通じ、確認・作成を行った。協議を通じて確認された事項及び調査団として行う提言はミニッツ（M/M）として取りまとめ、署名を行った（付属資料1. 及び2. 参照）。また、本プロジェクトにはブラジル日系第三国専門家の投入が予定されているため、帰路にサンパウロにて関係者（JICAサンパウロ支所、SBPN日系人研究者協会）との協議を行い、派遣方針並びに協力計画の具体化を検討した。

なお、本調査終了後の調査結果及び諸提言に基づいて、調査団帰国後にボリビア事務所主導でプロジェクト実施に関するM/Mを署名する予定である。

6. 調査結果総括

12月5～17日にかけて行った、ボリビア側関係者及びJICA現地事務所関係者との協議、プロジェクトサイト訪問、プロジェクトデザインのための課題抽出を目的にしたワークショップなど通じ、結果をM/Mにまとめボリビア側と合意した（付属資料1. 及び2.）。合意事項は同M/Mに記載のとおりであるが、以下に今後の留意事項等を提言する。

(1) プロジェクト活動の環境整備について

DILOSラパスの長をはじめ、ラパス側カウンターパート（C/P）配置はほぼ完了し、プロジェクトの年間実施計画などを決定する「合同調整委員会（JCC）」及びモデル地区活動を実施する「実施委員会（IC）」の構成案も合意した。しかし、プロジェクトオフィスが市保健局内に準備されたものの、執務環境が十分に整備されているとはいえない状況にある。2004年3月までに、執務環境整備のための事務機材や秘書等人的補強の配置計画書がラパス市より提出される旨回答を受けたが、JICAボリビア事務所による本件フォローアップが必要である。なお、プロジェクトサイトとなる第1及び第2保健ネットワーク代表部オフィスでは、簡単な執務スペースが準備されていることを確認した。

(2) プロジェクトサイトについて

ラパス市第1及び第2保健ネットワーク代表部共に、本年4月から徐々にプロジェクト開始に向け準備しており、特に、第2保健ネットワークでは、妊産婦死亡の症例検討委員会も設置されていた。一方、第1保健ネットワークでは活動の中核となるテンブラデラーニ母子保健センターの改築工事着工が大幅に遅れ来年からとなっていた。同エリアでの活動はセンターの稼働に大きくかかわっており、早期の完工・開院に向け引き続きJICAボリビア事務所からのフォローも必要であろう。第1及び第2保健ネットワークでは、各保健センター職員のみならず地区婦人会・隣組のリーダーに至るまで、プロジェクトの受入体制ができており、プロジェクト活動の大きな支えになると思われた。

(3) 他スキーム及びプロジェクトとの連携

当該プロジェクトでは、1次レベルにおける保健・医療施設において「人間味のあるやさしいケア」を提供できるために、「ケアの質の向上」をめざした人材育成と、既に供与した機材

の適切な利用（超音波診断装置の画像分析を含む）のための研修・トレーニングが重要な主コンポーネントとなる。ただし、協力の制約条件（時間、コスト、マンパワーなど）から、プロジェクトのカバー領域を超えるテーマに関する研修・トレーニングについては、実施中の現地国内研修の活用や、実施中の他案件（サンタクルス県地域保健ネットワーク強化プロジェクト）との連携などが必要であろう。

(4) 第三国専門家（日系ブラジル人専門家）について

このプロジェクトには第三国専門家が投入されているが、プロジェクトデザインが確定する前段階での人選であったことから、業務調整や活動内容検討において混乱がみられる。今年度末には3名の投入が予定されているが、JICA ボリビア事務所においては、早急に活動内容から判断した投入の是非、投入時期、活動領域、人数などについて、プロジェクトチームの意見を踏まえて、医療協力部及びJICA サンパウロ支所と緊密に連携しながら、効果的な投入を検討すべきである。

付 属 資 料

1. 事前評価調査ミニッツ（スペイン語）
2. 事前評価調査ミニッツ（和訳）
3. 実施協議ミニッツ（スペイン語）
4. 実施協議ミニッツ（和訳）
5. 事前評価調査団会議録
6. 短期専門家（母子保健）報告書

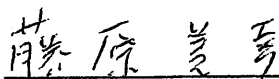
1. 事前評価調査ミニッツ (スペイン語)

MINUTA DE REUNION
ENTRE
LA MISION JAPONESA DE ESTUDIO PRELIMINAR
Y
AUTORIDADES CONCERNIENTES DEL GOBIERNO DE LA REPUBLICA DE BOLIVIA
SOBRE
LA COOPERACION TECNICA JAPONESA
PARA
EL PROYECTO DE LA RED METROPOLITANA DE ATENCION DE SALUD DE LA PAZ
PARA
LA ATENCION HUMANIZADA DEL PARTO

La Misión Japonesa de estudio preliminar (en adelante referido como “la Misión”), organizada por la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (en adelante referido como “JICA”) y encabezada por la Lic. Miyuki Fujiwara, visitó la República de Bolivia (en adelante referida como “Bolivia”) del 5 al 18 de diciembre de 2003, con el propósito de realizar estudios de análisis de la situación actual y sostener reuniones sobre la cooperación técnica propuesta para el “Proyecto de La Red Metropolitana de Atención de Salud de La Paz para la Atención Humanizada del Parto”.

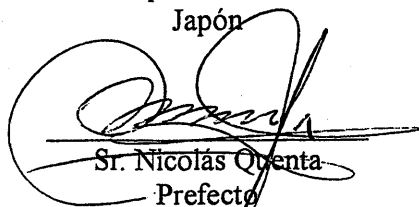
La Misión ha intercambiado opiniones y sostenido una serie de reuniones con autoridades concernientes del Gobierno de Bolivia (en adelante referidos como “las Autoridades Bolivianas”) y como resultado de las reuniones, la Misión y Autoridades Bolivianas (en adelante referido como “ambas partes”) acordaron los términos referidos en el documento adjunto.

La Paz, 17 de Diciembre de 2003



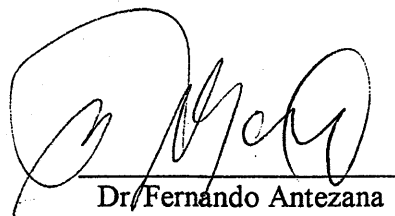
Lic. Miyuki Fujiwara
Líder de la Misión

Agencia de Cooperación Internacional del
Japón



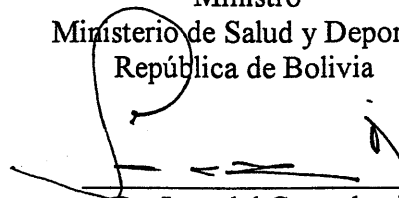
Sr. Nicolás Quenta
Prefecto

Prefectura del Departamento de La Paz
República de Bolivia



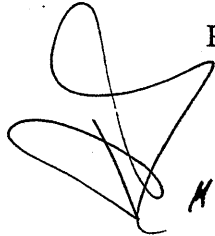
Dr. Fernando Antezana
Ministro

Ministerio de Salud y Deportes
República de Bolivia



Dr. Juan del Granado
Alcalde

Alcaldía Municipal de La Paz
República de Bolivia



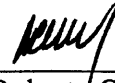


Dr. Edgar Tórrez
Presidente

Directorio Local de Salud de La Paz
República de Bolivia



m.f.



Lic. Roberto Camacho
Viceministro de Inversión Pública y
Financiamiento Externo,
Ministerio de Hacienda
República de Bolivia

DOCUMENTO ADJUNTO

I. COOPERACION ENTRE JAPON Y BOLIVIA

1. Ambas partes han acordado la modificación del Título del Proyecto; antes denominado "Proyecto de la Red Metropolitana de Atención de Salud de La Paz para la Atención Humanizada del Parto", se modificó a "Proyecto de Fortalecimiento de Redes de Salud : Mejoramiento de Salud Materno Infantil en el Municipio de La Paz" (en adelante referido como "el Proyecto"), debido al contenido del Resumen del Proyecto, mencionado en el *Anexo I*, elaborado por ambas partes.
2. La Alcaldía de La Paz y el Directorio Local de Salud de La Paz(en adelante referido como "DILOS La Paz") implementarán el Proyecto en Cooperación con JICA.
3. El Proyecto será implementado en concordancia con el Plan Maestro y Matriz de Diseño del Proyecto, que serán elaborados posteriormente por ambas partes, en base al Resumen del Proyecto.
4. La Agenda Tentativa de Implementación para los 2 años del Proyecto será elaborada posteriormente, por ambas partes.

II. MEDIDAS A SER ADOPTADAS POR EL GOBIERNO DEL JAPON

Ambas partes han recomendado las siguientes medidas a ser adoptadas por el Gobierno del Japón(de acuerdo con las leyes y regulaciones que rigen en Japón, el Gobierno del Japón tomará, a sus propias expensas, las siguientes medidas a través de JICA, según el procedimiento normal de las Modalidades de Cooperación Técnica de Japón).

1. ENVIO DE EXPERTOS JAPONESES Y MISIONES DE TERCEROS PAISES

JICA proveerá el servicio de expertos japoneses y misiones de terceros países, listados en el *Anexo II*.

2. PROVISION DE MAQUINARIA Y EQUIPO

JICA proveerá maquinaria, equipo y otros materiales (referido en adelante como "El Equipo") necesarios para la implementación del Proyecto, se elaborará el listado de los mismos posteriormente, por ambas partes.

3. ENTRENAMIENTO DEL PERSONAL BOLIVIANO

Ambas partes estudiarán la necesidad de capacitación técnica del personal boliviano involucrado en el Proyecto, lo más pronto posible.

III. MEDIDAS A SER ADOPTADAS POR EL GOBIERNO DE LA REPUBLICA DE BOLIVIA

Ambas partes han recomendado las siguientes medidas a ser adoptadas por el Gobierno de la República de Bolivia:

1. La Alcaldía de La Paz y DILOS La Paz tomarán las medidas necesarias para asegurar la operacionalización del Proyecto y para que pueda ser apoyado durante y después del período de la cooperación técnica, a través de la participación activa por parte de todas las autoridades, grupos beneficiarios e instituciones.
2. La Alcaldía de La Paz y DILOS La Paz asegurarán que la tecnología y conocimientos adquiridos por la parte boliviana, como resultado de la Cooperación Técnica Japonesa contribuyan al desarrollo social, económico, cultural y educativo de la República de Bolivia.
3. El Gobierno de Bolivia ofrecerá privilegios, exenciones y beneficios, listados en *Anexo III*, a los expertos japoneses y a las misiones de terceros países, referidos en II-1 anterior y a sus familias.
4. La Alcaldía de La Paz y DILOS La Paz tomarán las medidas necesarias con el fin de asegurar que los conocimientos y las experiencias adquiridas en la capacitación técnica en Japón u otros países por el personal boliviano, sean utilizados efectivamente en la implementación del Proyecto.
5. La Alcaldía de La Paz y DILOS La Paz proveerán el servicio del personal técnico, administrativo y de apoyo (el listado del personal boliviano involucrado en el Proyecto será presentado posteriormente, por ambas partes).
6. La Alcaldía de La Paz y DILOS La Paz proveerán espacios físicos para oficina, facilidades y equipos (lista de direcciones de oficinas, edificios y facilidades se presentará posteriormente, por ambas partes).
7. En concordancia con las leyes y regulaciones que rigen en la República de Bolivia, la Alcaldía de La Paz y DILOS La Paz tomarán las medidas necesarias para suministrar o reemplazar la maquinaria, equipo, instrumentos, vehículos, herramientas, repuestos y otros materiales necesarios en la implementación del Proyecto, con presupuesto propio, fuera de

lo proporcionado por JICA.

8. En concordancia con las leyes y regulaciones que rigen en la República de Bolivia, la Alcaldía de La Paz y DILOS La Paz adoptarán las medidas necesarias para programar y ejecutar los fondos que cubrirán los gastos que demande los pagos de importación, contra parte local y otros gastos necesarios para la implementación del Proyecto.

IV. ADMINISTRACION DEL PROYECTO

Ambas partes han recomendado el siguiente sistema de administración del Proyecto:

1. El Viceministro de Salud, como Supervisor del Proyecto, tendrá la responsabilidad de observar el desarrollo del Proyecto y dar sugerencias necesarias sobre las actividades al personal del Proyecto.
2. El Director de Servicio Departamental de Salud La Paz (en adelante referido como "SEDES La Paz"), como Cosupervisor del Proyecto, tendrá la responsabilidad de observar el desarrollo del Proyecto y dar sugerencias necesarias sobre las actividades al personal del Proyecto.
3. El Alcalde Municipal de La Paz, como Director del Proyecto, asumirá toda la responsabilidad del Proyecto.
4. El Presidente de DILOS La Paz, como Administrador del Proyecto, asumirá la responsabilidad en los aspectos administrativos y técnicos en la ejecución general del Proyecto.
5. Los Gerentes de Red 1 y Red 2, como Responsables de la Planificación, Implementación, Monitoreo y Evaluación de las Actividades del Proyecto, asumirán responsabilidades en los aspectos administrativos y técnicos en la ejecución del Proyecto.
6. El líder de expertos de JICA (Jefe Asesor) y/o el Representante Residente de la Oficina de JICA en Bolivia y/o las misiones organizadas por JICA proveerán las recomendaciones, asesoramientos o requerimientos necesarios al Director del Proyecto y al Administrador del Proyecto sobre cualquier aspecto correspondiente a la ejecución del Proyecto.

7. Los Expertos Japoneses, las misiones de terceros países y las misiones organizadas por JICA proporcionarán orientaciones y asesoramientos técnicos necesarios al personal de contraparte boliviana, sobre aspectos técnicos correspondientes a la ejecución del Proyecto.
8. Contraparte Boliviana de personal JICA
 - 8.1. Los Expertos de JICA y las misiones de terceros países se ubicarán en la Oficina Municipal de Salud de La Paz y sus contrapartes serán el Presidente del DILOS La Paz (el Administrador del Proyecto) y los Gerentes de Redes (Red 1 y Red 2).
 - 8.2. Estas contrapartes deberán ser conservadas y fortalecidas si fuera necesario, durante toda la implementación del Proyecto.
9. Para la efectividad y éxito en la implementación de la cooperación técnica del Proyecto, el Comité de Coordinación Conjunta, y el Comité de Dirección deberán establecer sus funciones, cuya composición se describen en el *Anexo IV*.

V. EVALUACION

Ambas partes han recomendado la siguiente manera de evaluación del Proyecto:

-JICA enviará la misión de evaluación final del proyecto durante los últimos seis meses del período de la cooperación.

VI. CONSULTA MUTUA

Ambas partes han recomendado la siguiente manera de consulta mutua del Proyecto:

-Habrá consulta mutua entre ambos Gobiernos, en aspectos relevantes que se deriven del Proyecto, o en conexión con este documento.

VII. MEDIDAS PARA PROMOVER EL ENTENDIMIENTO Y EL APOYO PARA EL PROYECTO

Ambas partes han recomendado las siguientes medidas para promover el entendimiento y apoyo para el Proyecto :


M. f.

1. Con el propósito de promover el apoyo para el Proyecto entre las personas pertinentes de la República de Bolivia, el Gobierno de la República de Bolivia tomará las medidas apropiadas y necesarias para que el Proyecto sea difundido ampliamente entre los ciudadanos de la República de Bolivia.

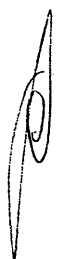

VIII. PERIODO DE COOPERACION

Ambas partes han recomendado el siguiente período de cooperación del Proyecto :

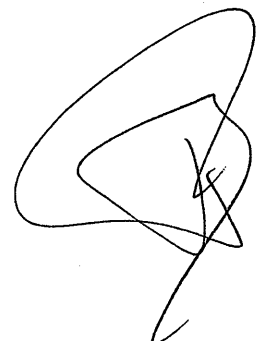
1. La duración de la cooperación técnica para el Proyecto descrita en el Documento adjunto será de dos (2) años, a partir del 1 de Enero de 2004.



ANEXO I	RESUMEN DEL PROYECTO
ANEXO II	LISTA DE EXPERTOS JAPONESES Y MISIONES DE TERCEROS PAISES
ANEXO III	PRIVILEGIOS, EXENCIONES Y BENEFICIOS PARA EXPERTOS JAPONESES
ANEXO IV	COMITE DE COORDINACION CONJUNTA Y COMITE DE DIRECCION



m.f.



ANEXO I RESUMEN DEL PROYECTO

Titulo del Proyecto : Proyecto de Fortalecimiento de Redes de Salud - Mejoramiento de Salud Materno Infantil en el Municipio de La Paz

Período de Ejecución : 2 años

Ejecutor : Alcaldía Muinicipal de La Paz, DILOS La Paz, Red 1 y Red 2 de la ciudad de La Paz

Grupo Objetivo Directo : Personal de servicio de salud de primer nivel de las Redes 1 y 2 de la ciudad de La Paz

Grupo Objetivo Indirecto: Habitantes de las Redes 1 y 2

Meta Superior. : Mejorar salud materno infantil en la ciudad de La Paz

Objetivo del Proyecto : Mejorar los servicios de salud de primer nivel en las Redes 1 y 2 de Salud de la ciudad de La Paz , en torno al sector de salud materno infantil.

~~e~~ Resultados Esperados :

1. Se mejora la calidad de atención de salud materno infantil en las Red 1 y 2 de Salud de la ciudad de La Paz.
2. Se fortalecen las actividades de salud materno infantil con la participación comunitaria en Centros de Salud Piloto.

ANEXO II

LISTA DE EXPERTOS JAPONESES Y MISIONES DE TERCEROS PAISES

1. Un Jefe Asesor en Salud Materno Infantil(el líder de expertos de JICA)
2. Un Coordinador en Administración y Actividades.
3. Expertos Japoneses de Corto Plazo y Misiones de Terceros Países, quienes se listan, por ejemplo, a continuación:
 - (1) Atención de Parto
 - ~~2~~ (2) Sistema de Salud Regional
 - (3) Médico Obstetra
4. Ambos lados serán responsables del planeamiento adicional de expertos de corto plazo y las misiones de terceros países.



m.f.

ANEXO III.

PRIVILEGIOS, EXENCIONES Y BENEFICIOS PARA EXPERTOS JAPONESES

1. Exención de impuestos sobre la renta y cualquier tipo de tarifas sobre o en conexión a estipendio remitido de otros países.
2. Exención de impuestos aduaneros y cualquier tipo de tarifa con respecto a efectos personales y domésticos.
- A* 3. En caso de accidente y emergencia, el Gobierno de Bolivia dispondrá de todas las medidas disponibles para brindar asistencia médica u otras asistencias necesarias para expertos japoneses y sus familiares.

P

[Handwritten mark]

[Handwritten signature]

m.f.

ANEXO IV:

COMITE DE COORDINACION CONJUNTA Y COMITE DE DIRECCION

1. Comité de Coordinación Conjunta

1.1. Funciones

El Comité de Coordinación Conjunta se reunirá por lo menos tres veces al año, y cuando sea necesario.

Las funciones serán:

- 1.1.1. La revisión y ajuste del Plan Anual de Cooperación del Proyecto en mención con el Matriz del Diseño del Proyecto (MDP), y de los recursos para el Proyecto y el Plan de Operaciones formulado bajo el marco de trabajo en la Minuta de Reuniones para ejecución del Proyecto.
- 1.1.2. La coordinación de acciones necesarias a tomar por ambas partes.
- 1.1.3. La revisión global del progreso del MDP y el Plan de Operaciones.
- 1.1.4. Al intercambio de los puntos de vista sobre los asuntos de mayor importancia derivados ó en conexión con el MDP y el Plan de Operaciones.

~~A~~ 1.2. Composición

- 1.2.1. Presidente: Viceministro de Salud, Ministerio de Salud y Deportes
- 1.2.2. Vicepresidente: Alcalde Municipal de La Paz, Líder de Expertos de JICA
- 1.2.3. Miembros del Comité

Por parte de Bolivia:

- a) Presidente de DILOS La Paz
- b) Director de SEDES La Paz
- c) Director de Dirección Municipal de Salud
- d) Representante de Comité de Vigilancia
- e) Gerentes de Red1 y Red2 de La Paz
- f) Presidente del Directorio del Complejo Hospitalario Miraflores
- g) Director de Hospital La Paz

Por parte de Japón:

- a) Expertos de JICA
- b) Representante Residente de JICA
- c) Otro personal vinculado a ser designado y/o enviado por JICA, si es necesario.

2. Comité de Dirección

2.1. Funciones

El Comité de Dirección se tendrá que reunir dos veces al mes.

Las funciones se enumeran a continuación:

- 2.1.1. La revisión, planificación y coordinación de las actividades del Proyecto.
- 2.1.2. Comunicación e intercambio de asuntos importantes provenientes o en conexión con el Proyecto.

2.2. Composición

2.2.1. Presidente: Presidente de DILOS La Paz

2.2.2. Vicepresidente: Director de SEDES La Paz, Representante de Comité de Vigilancia, Líder de Expertos de JICA

2.2.3. Miembros del Comité:

Por parte de Bolivia:

- a) Director de Dirección Municipal de Salud
- b) Director de Unidad de Sistemas Distritales de Salud
- c) Gerentes de Red 1 y Red 2.
- d) Director de Hospital La Paz
- e) Representante de Comité Profesionales de Area Piloto
- f) Director y Jefe Enfermera de Centro de Salud Piloto

Por parte de Japón:

- a) Expertos de JICA
- b) Otro personal vinculado a ser designado y/ o enviado por JICA, si es necesario.

Observador

- a) Personal de Ministerio de Salud y Deportes
- b) Presidente del Directorio del Complejo Hospitalario Miraflores
- c) Gerentes de Otras Redes de La Paz
- d) Personal de Hospital La Paz
- e) Personal de Hospital Materno Infantil de CNS (Caja Nacional de Salud)
- f) Personal de Red 1 y Red 2
- g) JOCV
- h) Otro personal invitado por el Comité, si es necesario.

2. 事前評価調査ミニッツ（和訳）

（ミニッツ和訳）

ラパスより良い出産のための医療ネットワーク強化プロジェクト 事前評価調査団とボリビア政府の協議覚え書き

国際協力機構（以下、JICA）により派遣された、藤原美幸を団長とする事前評価調査団（以下、調査団）は2003年12月5日～18日の期間、ボリビア共和国（以下、ボリビア）を訪問し、「ラパスより良い出産のための医療ネットワーク強化プロジェクト」にかかる技術協力の要請に関し、現状を分析し、協議を行った。

調査団はボリビア政府関係者（以下、ボリビア側関係者）との協議を通じ意見交換を行い、協議結果として、調査団とボリビア側関係者（以下、両者）は付属文書のとおり合意した。

ラパス 2003年12月17日

藤原美幸
JICA 事前評価調査団
団長

Dr.Fernando Antezana
ボリビア保健スポーツ省
大臣

Sr.Nicolás Quenta
ラパス県
知事

Dr.Juan del Granado
ラパス市
市長

Dr.Edgar Tórrez
ラパス地域保健委員会 (DILOS)
委員長

Lic.Roberto Camacho
大蔵省
公共投資国際金融次官

付属文書

I. 日本とボリビアの協力

1. 両者はプロジェクト名称の変更に関し合意した；当初「ラパスより良い出産のための医療ネットワーク強化プロジェクト」と題していたが、両者により作成されたプロジェクト概要（別添1）の内容に即し「ラパス市母子保健に焦点を当てた地域保健ネットワーク強化プロジェクト」（以下、プロジェクト）と変更した。
2. ラパス市とラパス地域保健委員会（以下、DILOS ラパス）は JICA との協力によりプロジェクトを実施する。
3. プロジェクトはプロジェクト概要に基づき、両者によって近日中に作成される、マスタープランおよび PDM に沿って実施される。
4. プロジェクト実施期間である 2 年間の暫定実施計画（TSI）は、両者によって近日中に作成される。

II. 日本側協力方針

両者は日本政府により行われる次のような協力方針について合意した（日本における法律及び規則に基づき、通常の技術協力手続きに乗っ取って JICA を通じた次のような協力を実施する）。

1. 日本人専門家及び第三国専門家派遣

JICA は、別添 2 のとおり、日本人専門家及び第三国専門家を派遣する。

2. 機材供与

JICA は、プロジェクト実施に必要な資機材等（以下、機材）を供与する。そのリストについては、近日中に両者によって作成される。

3. ボリビア側人材の研修

両者はプロジェクトに関係するボリビア側人材の技術研修の必要性について、可能な限り早急に検討を行う。

III. ボリビア側協力方針

両者はボリビア政府による次のような協力方針について合意した。

1. ラパス市及び DILOS ラパスは、プロジェクトの運営を確実にするため、また技術協力の実施中及び実施後の支援となるように、政府関係者、全ての受益者・受益機関による積極的な参加を通じた次のような方策を取る。
2. ラパス市及び DILOS ラパスは、日本の技術協力の結果として獲得された技術と知識が、ボリビアの社会、経済、文化、教育等開発に資するよう保証する。
3. ボリビア政府は前述 II - 1 に述べる日本人専門家及び第三国専門家及びその家族に関し、別添 3 にあるような特惠、免除及び便宜を供与する。
4. ラパス市及び DILOS ラパスは、日本またはその他の国でボリビア人材が得た技術研修による知識と経験を実際に本プロジェクトの実施に用いることが確保されるよう、必要な処置をとる。
5. ラパス市及び DILOS ラパスは、技術・事務及び補助スタッフのサービスを提供す

る(本プロジェクトに関係するボリビア人スタッフのリストは両者が近日中に提出される)。

6. ラパス市及び DILOS ラパスは、事務所及び施設、機材用の物理的スペースを提供する(事務所、建物及び施設のリストは、近日中に両者によって提出される)。
7. ラパス市と DILOS ラパスは、JICA が提供する予算とは別に、ボリビア共和国の現在の法規に従い、自らの予算によりプロジェクトの実施に必要な資機材及び関連器具、車両、道具、部品等を供給または交換するために必要な処置をとる。
8. ラパス市及び DILOS ラパスは、ボリビア共和国の現在の法規に従い、プロジェクトの実施に必要な輸入、カウンターパート及びその他諸経費をまかなうための予算作成と執行に必要な処置をとる。

IV. プロジェクト運営体制

調査団とボリビア関係者は、プロジェクト運営体制に関し次のような提案を行った。

1. 保健スポーツ次官は、プロジェクトのスーパーバイザーとしてプロジェクトの展開を見守りかつそのスタッフの活動に対し必要な助言を行う責任を有する。
2. ラパス県保健局(以下、SEDES ラパス)局長は、プロジェクトのスーパーバイザー補として、プロジェクトの展開を見守りかつそのスタッフの活動に対し必要な助言を行う責任を有する。
3. ラパス市長はプロジェクトダイレクターとして、プロジェクトの全ての責任を負う。
4. DILOS ラパス委員長は、プロジェクト管理者として、プロジェクト実施全般における運営、技術面の責任を負う。
5. 地域保健ネットワーク 1 及び 2 の長は、プロジェクト活動の企画、実施、モニタリング及び評価の責任者として、プロジェクト実施における運営、技術面の責任を負う。
6. JICA 専門家リーダー及び(または) JICA ボリビア事務所長及び(または) JICA が派遣する調査団は、プロジェクト実施に関する様々な側面について、必要な助言、指導、要求をプロジェクトダイレクター及びプロジェクト管理者に与える。
7. 日本人専門家、第三国専門家及び JICA 調査団はプロジェクトの実施に関係した技術事項について、ボリビア側 C/P スタッフに技術指導を行う。
8. JICA 人材のボリビア側 C/P
 - 8.1. JICA 専門家及び第三国専門家はラパス市保健局にオフィスを構えるとともに、DILOS ラパス委員長及びネットワーク 1 及び 2 の長を、C/P とする。
 - 8.2. これら C/P は、プロジェクトの実施期間中、必要に応じてその職を保障されなければならない。
9. プロジェクトの技術協力の効果的かつ成功裏の実施を行うために、別添 4 のとおり構成された合同調整委員会及び実施委員会は、それぞれの役割を定めなければならない。

V. 評価

調査団及びボリビア側関係者は下記の方法でプロジェクトの評価を提言した。

－JICAは協力期間終了前6ヶ月以内に終了時評価調査団を派遣する。

VI. 相互協議

調査団とボリビア側関係者は下記の方法でプロジェクトの相互協議を行うよう提言した。

－プロジェクトから発生する、またはこの文書に関係した主要な事項に関して、両国政府間で、相互協議が行われる。

VII. プロジェクトの理解と支援を深めるための方策

調査団とボリビア側関係者はプロジェクトの理解と支援を深めるために下記の方策を提言した。

1. ボリビア共和国の関係者間でプロジェクトに関する支援を深めるために、ボリビア政府はプロジェクトがボリビア国の広範な市民に普及されるよう、必要かつ適切な処置を取る。

VIII. 協力期間

調査団とボリビア側関係者はプロジェクト協力期間について下記の期間を提言した。

1. 付属文書に述べるプロジェクトの協力期間は、2004年の1月1日から2年間とする。

別添1. プロジェクト概要

別添2. 日本人専門家及び第三国専門家リスト

別添3. 日本人専門家に関する特恵、免除及び便宜

別添4. 合同調整委員会及び実施委員会

別添1 プロジェクト概要

プロジェクト名 ラパス市母子保健に焦点を当てた地域保健ネットワーク強化プロジェクト (Proyecto de Fortalecimiento de Redes de Salud - Mejoramiento de Salud Materno Infantil en el Municipio de La Paz)

実施期間 2年間

実施機関 ラパス市、ラパス地域保健委員会 (DILOS)、保健ネットワーク1及び2

直接対象者 ラパス市保健ネットワーク1及び2の1次医療サービス従事者

間接対象者 同ネットワーク1及び2の住民

上位目標 ラパス市の母子健康状態が改善される。

プロジェクト目標 ラパス市の保健ネットワーク1及び2の1次医療サービスが、母子保健を中心に改善される。

期待される成果 1. ラパス市の保健ネットワーク1及び2における母子に対するケアの質が向上する。

2. パイロット保健センターにおける母子保健活動が住民参加のもと強化される。

別添2 日本人専門家および第三国専門家リスト

1. 母子保健に関するチーフアドバイザー（JICA 専門家リーダー）
2. 業務及び活動に関するコーディネーター
3. 日本人短期専門家及び第三国専門家に関しては、例えば、次のような者になる。
 - (1) 助産ケア
 - (2) 地域医療行政
 - (3) 産科医
4. 両者は短期専門家及び第三国専門家の追加的プランニングについて責任を持つ。

別添3 日本人専門家に関する特惠、免除及び便宜

1. 他国からの送金に係る全ての料金及び収入に関する税金の免除
2. 家庭用品及び私物に関する通関税及びその他全ての類の関税の免除
3. 事故や緊急時の場合、ボリビア政府は日本人専門家及びその家族に医療サービスその他必要な支援を提供するために準備できるあらゆる処置をとる。

別添4 合同調整委員会及び実施委員会

1. 合同調整委員会

1.1. 機能

合同調整委員会は1年に少なくとも3回、また必要に応じて開催される。

役割は次のとおり：

- 1.1.1. 実施に関するミニッツの枠組みのもと、PDMに伴う年間計画、人材、運営計画などの見直しや調整
- 1.1.2. 両者がとるべき必要な活動の調整
- 1.1.3. PDM及びPOの進捗に関する全体的な見直し
- 1.1.4. PDM及びPOに関係した、または派生した重要な事項に関する見解の交換

1.2. 構成

議長：保健スポーツ省保健次官

副議長：ラパス市長、JICA 専門家リーダー

ボリビア側：

- 1) ラパス市地域保健委員会 (DILOS) 委員長
- 2) ラパス県保健局 (SEDES) 局長
- 3) ラパス市保健局長
- 4) 住民監視委員会代表
- 5) 第1及び第2保健ネットワーク代表
- 6) ミラフローレス複合病院群委員会委員長
- 7) ラパス病院長

日本側：

- 1) JICA 専門家
- 2) JICA ボリビア事務所代表
- 3) 必要に応じて、JICAにより指名される（または）派遣される関係者

2. 実施委員会

2.1. 機能

実施委員会は少なくとも1ヶ月に2回実施されなければならない。

実施委員会の役割は次のとおり：

- 2.1.1. プロジェクト活動の見直し、企画及び調整
- 2.1.2. プロジェクトに関係した、またはプロジェクトから発生した重要な事項に関する情報伝達や交換

2.2. 構成

議長：DILOS ラパス委員長

副議長：SEDES ラパス局長、住民監視委員会代表、JICA 専門家リーダー

ボリビア側：

- 1) 市保健局長
- 2) 市保健区システム課長
- 3) 第1及び第2保健ネットワーク代表
- 4) ラパス病院長
- 5) 第1及び第2保健ネットワーク医療施設長代表
- 6) パイロット施設長及び看護師長

日本側：

- 1) プロジェクト専門家
- 2) 必要に応じて、JICAにより指名される（または）派遣される関係者

オブザーバー：

- 1) 保健スポーツ省関係者
- 2) ミラフローレス複合病院群委員会委員長
- 3) ラパス市内他の保健ネットワーク代表
- 4) ラパス病院関係者
- 5) CNS 母子病院関係者
- 6) 第1及び第2保健ネットワーク関係者
- 7) 青年海外協力隊員
- 8) 必要に応じ、実施委員会によって招待された者

3. 実施協議ミニッツ (スペイン語)

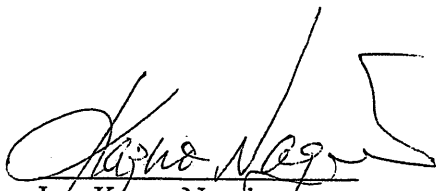
MINUTA DE REUNION
ENTRE
LA AGENCIA DE COOPERACION INTERNACIONAL DEL JAPON, JICA
Y LAS
AUTORIDADES CONCERNIENTES DEL GOBIERNO DE LA REPUBLICA DE BOLIVIA
SOBRE
LA COOPERACION TECNICA JAPONESA
PARA
EL PROYECTO DE FORTALECIMIENTO DE REDES DE SALUD : MEJORAMIENTO
DE LA SALUD MATERNO INFANTIL EN EL MUNICIPIO DE LA PAZ

La Agencia de Cooperación Internacional del Japón (en adelante referida como "JICA"), encabezada por su Director Representante Residente, Ing. Kazuo Nagai, realizó estudios de análisis de la situación actual sobre la cooperación técnica para el "Proyecto de Fortalecimiento de Redes de Salud : Mejoramiento de la Salud Materno Infantil en el Municipio de La Paz".

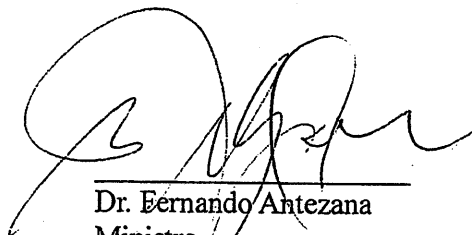
JICA ha intercambiado opiniones y ha sostenido una serie de reuniones con autoridades concernientes del Gobierno de Bolivia (en adelante referidos como "las Autoridades Bolivianas"), con respecto a las medidas a ser asumidas por ambos gobiernos para la exitosa implementación del Proyecto.

Como resultado de las reuniones, y en conformidad con las disposiciones del Convenio de Cooperación Técnica suscrito entre los Gobiernos del Japón y de la República de Bolivia, en fecha 22 de marzo de 1978 en la ciudad de La Paz (en adelante referido como "El Convenio"), JICA y las Autoridades Bolivianas (en adelante referido como "ambas partes") acordaron encomendar a sus respectivos gobiernos los puntos mencionados en el documento adjunto.

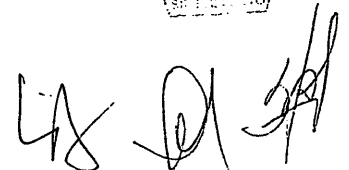
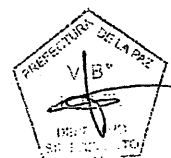
La Paz, 23 de Diciembre de 2003

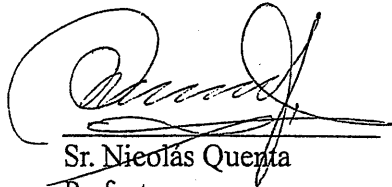


Ing. Kazuo Nagai
Director Representante,
Agencia de Cooperación Internacional
del Japón en Bolivia

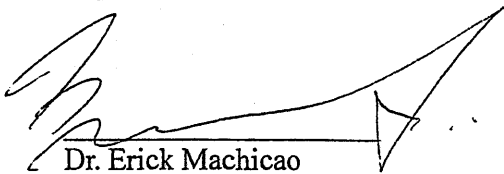


Dr. Eernando Antezana
Ministro,
Ministerio de Salud y Deportes,
República de Bolivia

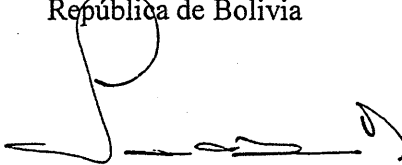




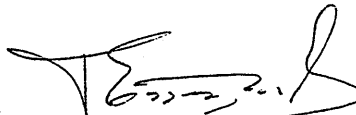
Sr. Nicolás Quenta
Prefecto,
Prefectura del Departamento de La Paz
República de Bolivia



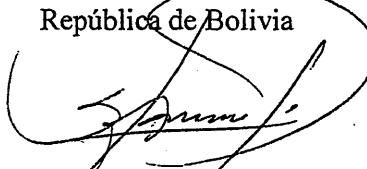
Dr. Erick Machicao
Director,
Servicio Departamental de Salud,
Prefectura del Departamento de La Paz,
República de Bolivia



Dr. Juan del Granado
Alcalde,
Alcaldía Municipal de La Paz,
República de Bolivia



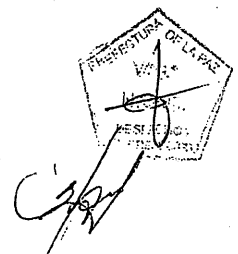
Dr. Edgar Tórriz
Presidente,
Directorio Local de Salud La Paz,
República de Bolivia



Sr. Hector Arce Leañez
Representante,
Comité de Vigilancia de La Paz,
República de Bolivia



Lic. Luis Arnal
Viceministro de Inversión Pública y
Financiamiento Externo,
Ministerio de Hacienda,
República de Bolivia



DOCUMENTO ADJUNTO

I. COOPERACION ENTRE JAPON Y BOLIVIA

- 1 El Gobierno de la República de Bolivia implementará el Proyecto de Fortalecimiento de Redes de Salud : Mejoramiento de Salud Materno Infantil en el Municipio de La Paz (en adelante referido como “ El Proyecto”) en cooperación con el Gobierno del Japón.
- 2 El Proyecto será implementado en concordancia con el Plan Maestro, Matriz de Diseño del Proyecto y la Agenda Tentativa de Implementación para los 2 años del Proyecto indicados en el *Anexo I*.

II. MEDIDAS A SER ADOPTADAS POR EL GOBIERNO DEL JAPON

Ambas partes han acordado las siguientes medidas a ser adoptadas por el Gobierno del Japón, (de acuerdo con las leyes y regulaciones que rigen en Japón, el Gobierno del Japón tomará, a sus propias expensas, las siguientes medidas a través de JICA, según el procedimiento normal de las Modalidades de Cooperación Técnica de Japón).

1. ENVIO DE EXPERTOS JAPONESES Y MISIONES DE TERCEROS PAISES

JICA proveerá el servicio de expertos japoneses y misiones de terceros países, listados en el *Anexo II*.

2. PROVISION DE MAQUINARIA Y EQUIPO

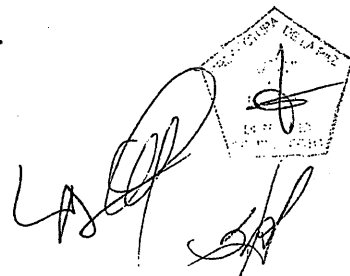
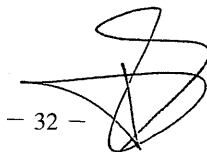
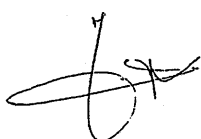
JICA proveerá maquinaria, equipo y otros materiales (en adelante referidos como “El Equipo”) necesarios para la implementación del Proyecto, de la manera indicada en el *Anexo III*. Las disposiciones del Artículo IX del Convenio serán aplicadas al equipo.

3. CAPACITACION DEL PERSONAL BOLIVIANO

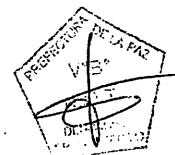
El personal boliviano será capacitado en Japón y/o en terceros países.

III. MEDIDAS A SER ADOPTADAS POR EL GOBIERNO DE LA REPUBLICA DE BOLIVIA

Ambas partes han acordado las siguientes medidas a ser adoptadas por el Gobierno de la República de Bolivia a través del Gobierno Municipal de La Paz y DILOS.



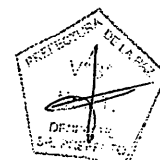
1. El Gobierno Municipal de La Paz y DILOS La Paz proveerán el servicio del personal técnico, administrativo y de apoyo que se detalla en el *Anexo IV*.
2. El Gobierno Municipal de La Paz y DILOS La Paz proveerán espacios físicos para oficinas, facilidades y equipos , detallados en el *Anexo V*.
3. El Gobierno Municipal de La Paz y DILOS adoptarán las medidas necesarias para asegurar que la operación autónoma del Proyecto pueda ser mantenida durante y después del período de la cooperación técnica japonesa, a través de la participación plena y activa en el Proyecto de todas las autoridades, grupos beneficiarios e instituciones relacionadas.
4. En conformidad con las disposiciones del Artículo IV del Convenio, el Gobierno Municipal de La Paz y DILOS aseguran que las tecnologías adquiridas por nacionales bolivianos, como resultado de la cooperación técnica japonesa, contribuirán al desarrollo económico y social del municipio.
5. En conformidad con las disposiciones de los Artículos V y VI del Convenio, el Gobierno de la República de Bolivia otorgará, en el territorio de esta última, los privilegios, extensiones y beneficios a los Expertos Japoneses mencionados en el Artículo II-1, así como a sus familiares.
6. En conformidad con las disposiciones del Artículo IX del Convenio, el Gobierno Municipal de La Paz y DILOS tomarán las medidas necesarias para recibir y usar el equipamiento suministrado a través de JICA , bajo el Artículo II-2 arriba mencionado, y el equipo, maquinaria y material traídos por los expertos japoneses referidos en el Artículo II-1.
7. El Gobierno Municipal de La Paz y DILOS tomarán las medidas necesarias para asegurar que los conocimientos y experiencias adquiridos por la contraparte boliviana, que participará de la capacitación técnica, serán utilizados eficazmente, para la ejecución del Proyecto.
8. En conformidad con las leyes y reglamentos vigentes en la República de Bolivia, el Gobierno Municipal de La Paz y DILOS tomarán las medidas necesarias para suministrar o reemplazar por su cuenta, maquinaria, equipo, instrumentos, vehículos, herramientas, repuestos y cualquier otro tipo de material necesario para la ejecución del Proyecto, salvo el equipamiento proporcionado por JICA, de acuerdo con el inciso II-2 arriba mencionado.
9. En conformidad con las leyes y reglamentos vigentes en la República de Bolivia, el Gobierno Municipal de La Paz y DILOS tomarán las medidas necesarias para cubrir los gastos corrientes de administración y operación que demande el Proyecto.



IV. ADMINISTRACION DEL PROYECTO

Ambas partes han acordado el siguiente sistema de administración del Proyecto:

1. El Viceministro de Salud, como Supervisor del Proyecto, tendrá la responsabilidad de observar el desarrollo del Proyecto y dar sugerencias necesarias sobre las actividades al personal del Proyecto.
2. El Director de Servicio Departamental de Salud La Paz (en adelante referido como "SEDES La Paz"), como Cosupervisor del Proyecto, tendrá la responsabilidad de observar el desarrollo del Proyecto y dar sugerencias necesarias al personal del Proyecto, sobre las actividades.
3. El Alcalde Municipal de La Paz, como Director del Proyecto, asumirá toda la responsabilidad del Proyecto.
4. El Presidente de DILOS La Paz, como Administrador del Proyecto, asumirá la responsabilidad en aspectos administrativos y técnicos en la ejecución general del Proyecto.
5. Los Gerentes de Red 1 y Red 2, como Responsables de la Planificación, Implementación, Monitoreo y Evaluación de las Actividades del Proyecto, asumirán responsabilidades en los aspectos administrativos y técnicos en la ejecución del Proyecto.
6. El líder de expertos de JICA (Jefe Asesor) y/o el Representante Residente de la Oficina de JICA en Bolivia y/o las misiones organizadas por JICA proveerán las recomendaciones, asesoramiento o requerimientos necesarios al Director del Proyecto y al Administrador del Proyecto sobre cualquier aspecto correspondiente a la ejecución del Proyecto.
7. Los Expertos Japoneses, las misiones de terceros países y las misiones organizadas por JICA proporcionarán orientaciones y asesoramiento técnico necesarios al personal de contraparte boliviana, sobre aspectos técnicos correspondientes a la ejecución del Proyecto.



8. Contraparte Boliviana de personal de JICA
 - 8.1. Los Expertos de JICA y las misiones de terceros países se ubicarán en la Oficina Municipal de Salud de La Paz y su contraparte será el Presidente de DILOS La Paz (Administrador del Proyecto) y los Gerentes de Redes (Red 1 y Red 2).
 - 8.2. La contraparte mencionada deberá ser conservada y fortalecida, si fuera necesario, durante toda la implementación del Proyecto.

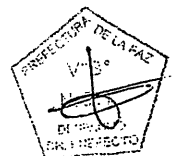
9. Para la efectividad y éxito en la implementación de la cooperación técnica del Proyecto, el Comité de Coordinación Conjunta, y el Comité de Dirección se establecen cuya composición y funciones se describen en el *Anexo VI*.

V. PERIODO DE COOPERACION

Ambas partes han acordado el siguiente período de cooperación del Proyecto :

La duración de la cooperación técnica para el Proyecto descrita en el Documento Adjunto será de dos (2) años, a partir del 1 de Enero del 2004 al 31 de Diciembre del 2005.

ANEXO I	PLAN MAESTRO, PDM Y AGENDA DEL PROYECTO
ANEXO II	EXPERTOS JAPONESES Y MISIONES DE TERCEROS PAISES
ANEXO III	MAQUINARIA Y EQUIPO
ANEXO IV	PERSONAL CONTRAPARTE DE APOYO BOLIVIANO
ANEXO V	INFRAESTRUCTURA E INSTALACIONES
ANEXO VI	COMITÉ DE COORDINACION CONJUNTA Y COMITE DE DIRECCION



ANEXO I PLAN MAESTRO

Titulo del Proyecto : Proyecto de Fortalecimiento de Redes de Salud "Mejoramiento de Salud Materno Infantil en el Municipio de La Paz

Período de Ejecución : 2 años

Ejecutor : Gobierno Municipal de La Paz, DILOS La Paz, Red 1 y Red 2 de la ciudad de La Paz

Grupo Objetivo Directo : Funcionarios institucionales del primer nivel de las Redes 1 y 2 de la ciudad de La Paz

Grupo Objetivo Indirecto: Habitantes del área modelo

Objetivo Superior : Mejorar la salud materno infantil en la ciudad de La Paz


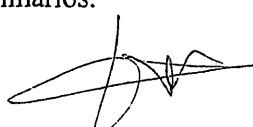
Objetivo del Proyecto : Mejorar los servicios de salud de primer nivel en las Redes 1 y 2 de Salud de la ciudad de La Paz, en torno al sector de salud materno infantil.

Resultados Esperados :



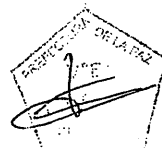
1. Se mejora la calidad de servicios de salud materno infantil en las Redes 1 y 2 de Salud de la ciudad de La Paz.
2. Se fortalecen las actividades de salud materno infantil con la participación comunitaria en Centro de Salud Piloto.

Actividades del Proyecto :

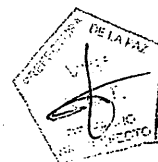
- 1-1. Identificar el tema sobre la calidad de atención prestada en el centro de salud piloto.
 - 1-1-1 Realizar la investigación de la calidad de atención que los funcionarios prestan en el centro de salud piloto.
 - 1-1-2 Realizar la investigación de la calidad de atención que los funcionarios reconocen.
 - 1-1-3 Planificar entrenamiento necesario utilizando los resultados obtenidos.
- 1-2. Realizar cursos de entrenamiento para la atención durante la gestación y el parto(especialmente en la primera etapa del parto) en las Redes de salud 1 y 2.
 - 1-2-1-1 Confirmar la situación del control prenatal que se realiza, en base a las normas establecidas por el Ministerio de Salud y Deportes y SEDES.
 - 1-2-1-2 Realizar seminarios para la demostración de resultados obtenidos de la situación del control prenatal.
 - 1-2-1-3 Realizar cursos de entrenamiento, una vez concluidos los seminarios.
 - 1-2-2-1 En base a los resultados de la investigación 1-1, realizar seminarios para mejorar la atención de partos.
 - 1-2-2-2 Realizar cursos de entrenamiento sobre atención de partos, una vez concluidos los seminarios.



- 36 -

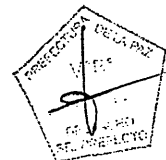


- 1-2-2-3 Realizar la evaluación del entrenamiento continuamente.
- 1-3. Realizar cursos de entrenamiento sobre la atención neonatal y el apoyo a la lactancia materna en las Redes de salud 1 y 2.
- 1-3-1 Confirmar la situación de la atención neonatal y el apoyo a la lactancia materna desde la etapa de gestación hasta un mes después de nacido.
- 1-3-2 Realizar seminarios en base a los resultados obtenidos de la atención neonatal y el apoyo a la lactancia materna.
- 1-3-3 Realizar cursos de entrenamiento una vez concluidos los seminarios.
- 1-3-4 Realizar la evaluación del entrenamiento continuamente.
- 1-4. Elaborar y ejecutar el flujograma de monitoreo y evaluación del entrenamiento realizado.
- 1-5. Realizar inventarios de los equipos médicos de centros médicos de primer nivel de las Redes 1 y 2 para adecuar su utilización.
- 1-5-1 Confirmar la situación de los inventarios realizados.
- 1-5-2 Realizar el mantenimiento de equipos médicos en base a sistemas de mantenimiento.
- 2-1. Identificar el tema referente a la situación actual de salud de los habitantes locales y de la prestación de su servicio por medio del centro de salud piloto.
- 2-1-1 Realizar la investigación de la condición de salud de la comunidad por medio del centro de salud piloto.
- 2-1-2 Comprender las características del área del centro de salud piloto.
- 2-1-3 Comprender el comportamiento de la población en lo que se refiere a salud por medio del centro de salud piloto.
- 2-1-4 Comprender los recursos de salud involucrados en la zona a cargo del centro de salud piloto.
- 2-1-5 Analizar el tema en base a los resultados de la investigación realizada en el centro de salud piloto.
- 2-1-6 Revisar el POA en base a el análisis del tema.
- 2-2. Realizar reuniones y eventos en relación al tema materno infantil en el centro de salud piloto.
- 2-2-1 Realizar continuamente reuniones con la comunidad en las cuales se tomará el tema materno infantil.
- 2-2-2 Planificar las actividades de salud materno infantil en base a los resultados de los análisis que se obtengan y hacerlos saber a la comunidad.



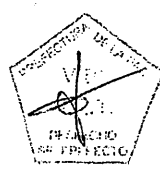
- 2-3. Realizar reuniones y eventos propuestos por la comunidad sobre el tema materno infantil en el centro de salud piloto.
- 2-4. Ordenar el material didáctico existente para la salud y utilizarlo para las actividades de concientización y educación comunitaria en el centro de salud piloto.
- 2-4-1 Registrar el material didáctico existente en el centro de salud piloto.
- 2-4-2 Conservar el material didáctico necesario para ser utilizado en actividades propuestas por la comunidad.
- 2-5. Elaborar un modelo de ensayo sobre la manera de monitorear y evaluar las reuniones, los eventos de salud y actividades participativas comunitarias.
- 2-6. Presentar los resultados de monitoreos y evaluaciones realizadas en base al modelo de ensayo en nivel de DILOS y Redes de Salud.
- 2-7. Elaborar el Plan Operativo Anual (POA) en base a las necesidades de la comunidad presentandolo a sus respectivas instancias en la Red.

Se describe Plan Operativo en Anexo adjunto.

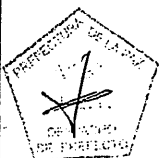


Título: Proyecto de Fortalecimiento de Redes de Salud - Mejoramiento de Salud Materno Infantil en la ciudad de La Paz Período: 3 años		Versión: 0 Fecha: 23/Dec/2003	
Resumen del proyecto		Limitaciones y Factores externos	
[Objetivo Suplementario] Mejorar salud materno infantil en la ciudad de La Paz	[Objetivo del Proyecto] Mejorar los servicios de salud de primer nivel en la Red 1 y 2 de Salud de la ciudad de La Paz, en torno al sector de salud materno infantil.	Indicadores * Mortalidad materna 602/cien mil nacidos vivos(2001) → 542/cien mil nacidos vivos * Mortalidad Infantil 86/mil nacidos vivos(2001) → 77/mil nacidos vivos * Porcentaje de gestantes que realizaron 4 o más consultas prenatales Red1 55%(2001)→60% Red2 44%(2001)→48% * Cobertura de prenatal Red1 38%(2001)→50% Red2 47%(2001)→52% * Cobertura de primer control crecimiento y desarrollo menores de 2 años Red1 36%(2001)→39% Red2 46%(2001)→50% * Porcentaje de parto institucional que ocupa los centros de salud de primer nivel Red1 11%(2001)→11.2% Red2 27%(2001)→27.1%	medios para lograr indicadores Datos de INE Datos de SNIS Datos de Redes de Salud 1 y 2 Datos de Centro de Salud piloto Datos de INE Datos de SNIS Datos de Redes de Salud 1 y 2 Datos de Centro de Salud piloto Datos de Proyecto
[Resultados esperados] 1. Se mejora la calidad de servicios de salud materno infantil en la Red 1 y 2 de Salud de la ciudad de La Paz. 2. Se fortalecen las actividades de salud materno infantil con la participación comunitaria en Centro de Salud Piloto.	[Inversión] Japón Jefe asesor de salud materno infantil Coordinador de salud Expertos de corto plazo Misiones de tercer país Equipamiento -Doppler - Tensión matro - Balanza - Esterilizador - Cuna radiante	* Nivel de partos realizados según lo que indica la OMS(59pasos) * Cambio de la manera de pensar de los funcionarios hacia los usuarios * Realización de propuestas en relación con la salud materno infantil hechas por la comunidad	Contra parte Alcalde Municipal de La Paz Presidente de DILOS La Paz Director de SEDES La Paz Director de Dirección de Salud DMS Unidad sistema de salud La Paz Representante de Comité de Vigilancia Gerente de Redes de Salud Director de Centro de Salud piloto Gerente de Comité de Población
[Actividades] 1-1. Identificar el tema sobre la calidad de atención prestada en el centro de salud piloto. 1-2. Realizar cursos de entrenamiento para la atención durante la gestación y el parto(especialmente en la primera etapa del parto)en las Redes de salud 1 y 2. 1-3. Realizar cursos de entrenamiento sobre la atención neonatal y el apoyo a la lactancia materna en las Redes 1 y 2. 1-4. Elaborar y ejecutar el flujograma de monitoreo y evaluación del entrenamiento realizado. 1-5. Realizar inventarios de los equipos médicos de centros médicos de primer nivel de las Redes 1 y 2 para adecuar su utilización. 2-1. Identificar el tema referente a la situación actual de salud de los habitantes locales y de la prestación de su servicio por medio del centro de salud piloto. 2-2. Realizar reuniones y eventos en relación al tema materno infantil en el centro de salud piloto. 2-3. Realizar reuniones y eventos propuestos por la comunidad sobre el tema materno infantil en el centro de salud piloto. 2-4. Ordenar el material didáctico existente para la salud y utilizarlo para las actividades de concientización y educación comunitaria en el centro de salud piloto. 2-5. Elaborar un modelo de ensayo sobre la manera de monitorear y evaluar las reuniones, los eventos de salud y actividades participativas comunitarias. 2-6. Presentar los resultados de monitoreos y evaluaciones realizadas en base al modelo de ensayo en nivel de DILOS y Redes de salud. 2-7. Elaborar el Plan Operativo Anual(POA) en base a las necesidades de la comunidad presentándolo a sus respectivas instancias en la Red.	[Limitaciones y factores externos] - El gobierno de Bolivia no realiza cambio notorio de políticas de salud materno infantil. - No se cambia notoriamente tanto el sistema administrativo de salud local(DILOS) como la Red de servicio de salud.		

Planificac: Operativo														
Título del Proyecto: Proyecto de Fortalecimiento de Redes de Salud Materno Infantil en la Ciudad de La Paz														
Área: Obiettiva: Redes de Salud 1 y 2 de la ciudad de La Paz														
Grupo: Objetivo: Funcionarios institucionales del primer nivel, habitantes del área modelo														
Periodo: 2 años														
Objeto del Proyecto: Mejorar los servicios de salud del primer nivel en las Redes 1 y 2 de Salud de la ciudad de La Paz, en torno al sector de salud materno infantil														
Resultados esperados:														
1. Se mejora la calidad de servicios de salud materno infantil en las Redes 1 y 2 de Salud de la ciudad de La Paz														
2. Se fortalecen las actividades de salud materno infantil con la participación comunitaria en el Centro de Salud Piloto.														
Actividades	Primer año						Segundo año						Inversión	
	Ene - Mar	Abr - Jun	Jul - Sep	Oct - Dic	Ene - Mar	Abr - Jun	Jul - Sep	Oct - Dic	Encargados	Parte Japonesa	Parte Boliviana	Equipamiento y presupuesto		
1-1. Identificar el tema sobre la calidad de atención prestada en el centro de salud piloto.									C/S, DMS, Redes 1 y 2, SEDES, Proyecto	Expertos a corto y largo plazo	Director de C/S, Encargada de Redes 1 y 2, DMS y SEDES	Costo de la investigación		
1-1-1. Realizar la investigación de la calidad de atención que los funcionarios prestan en el centro de salud piloto.	↑													
1-1-2. Realizar la investigación de la calidad de atención que los funcionarios reconocen	↑													
1-1-3. Planificar entrenamientos necesarios utilizando los resultados obtenidos.	↑													
1-2. Realizar cursos de entrenamiento para la atención durante la gestación y el parto (especialmente en la primera etapa del parto) en las Redes de salud 1 y 2.									Directores del Complejo Miraflores, Proyecto	Experto a corto plazo	Directores del Complejo Miraflores, SEDES, Redes 1 y 2, DMS, C/S	Costo del entrenamiento		
1-2-1-1. Confirmar la situación del control prenatal que se realiza, en base a las normas establecidas por el Ministerio de Salud y Deportes y SEDES.	↑													
1-2-1-2. Realizar seminarios para la demostración de resultados obtenidos de la situación del control prenatal.	↑													
1-2-1-3. Realizar cursos de entrenamiento, una vez concluidos los seminarios.	↑													
1-2-2-1. En base a los resultados de la investigación 1-1, realizar seminarios para mejorar la atención de partos.				↑										
1-2-2-2. Realizar cursos de entrenamiento sobre atención de partos, una vez concluidos los seminarios.				↑										
1-2-2-3. Realizar la evaluación del entrenamiento continuamente.					↑		↑							



Actividades	Primer año						segundo año						Inversión							
	Ene - Mar		Abr - Jun		Jul - Sep		Oct - Dic		Ene - Mar		Abr - Jun		Jul - Sep		Oct - Dic		Encargados	Parte Japonesa	Parte Boliviana	Equipamiento y presupuesto
	Mar	Ene	Jun	Abr	Sep	Jul	Dic	Oct	Mar	Jun	Abr	Sep	Jul	Oct	Dic					
1-3. Realizar cursos de entrenamiento sobre la atención neonatal y el apoyo a la lactancia materna en las Redes de salud 1 y 2.																	Director del Complejo Miraflores, Director del Hospital La Paz, Proyecto	Experto a largo plazo	Director del Hospital La Paz	Costo del entrenamiento
1-3-1. Confirmar la situación de la atención neonatal y el apoyo a la lactancia materna desde la etapa de gestación hasta un mes después de nacido.																				
1-3-2. Realizar seminarios en base a los resultados obtenidos de la atención neonatal y el apoyo a la lactancia materna.																				
1-3-3. Realizar cursos de entrenamiento una vez concluidos los seminarios.																				
1-3-4. Realizar la evaluación del entrenamiento continuamente.																				
1-4. Elaborar y ejecutar el flujograma de monitoreo y evaluación del entrenamiento realizado.																				
1-5. Realizar inventarios de los equipos médicos de centros médicos de primer nivel de las Redes 1 y 2 para adecuar su utilización.																	C/S, DMS, Redes 1y2, SEDES, Proyecto	Expertos a corto y largo plazo	Director de C/S, Encargado de Redes 1y2, DMS y SEDES	Costo de la investigación
1-5-1. Confirmar la situación de los inventarios realizados.																				
1-5-2. Realizar el mantenimiento de equipos médicos en base a sistemas de mantenimiento.																				
2-1. Identificar el tema referente a la situación actual de salud de los habitantes locales y de la prestación de su servicio por medio del centro de salud piloto.																				
2-1-1. Realizar la investigación de la condición de salud de la comunidad por medio del centro de salud piloto.																				
2-1-2. Comprender las características del área del centro de salud piloto.																				



Actividades	Primer año						segundo año						Encargada	Inversión		Equipamiento y presupuesto				
	Ene - Mar		Abr - Jun		Jul - Sep		Oct - Dic		Ene - Mar		Abr - Jun			Jul - Sep			Oct - Dic		Parte Japonesa	Parte Boliviana
2-1-3. Comprender el comportamiento de la población en lo que se refiere a salud por medio del centro de salud piloto.																				
2-1-4. Comprender los recursos de salud involucrados en la zona a cargo del centro de salud piloto.																				
2-1-5. Analizar el tema en base a los resultados de la investigación realizada en el centro de salud piloto.																				
2-1-6. Revisar el POA en base a el análisis del tema.																				
2-2. Realizar reuniones y eventos en relación al tema materno infantil en el centro de salud piloto.																				
2-2-1. Realizar continuamente reuniones con la comunidad en las cuales se tomará el tema materno infantil.																				
2-2-2. Planificar las actividades de salud materno infantil en base a los resultados de los análisis que se obtengan y hacerlos saber a la comunidad.																				
2-3. Realizar reuniones y eventos propuestos por la comunidad sobre el tema materno infantil en el centro de salud piloto.																				
2-4. Ordenar el material didáctico existente para la salud y utilizarlo para las actividades de concientización y educación comunitaria en el centro de salud piloto.																				
2-4-1. Registrar el material didáctico existente en el centro de salud piloto.																				
2-4-2. Conservar el material didáctico necesario para ser utilizado en actividades propuestas por la comunidad.																				
2-5. Elaborar un modelo de ensayo sobre la manera de monitorear y evaluar las reuniones, los eventos de salud y actividades participativas comunitarias.																				
2-6. Presentar los resultados de monitoreos y evaluaciones realizadas en base al modelo de ensayo en nivel de DILOS y Redes de Salud.																				
2-7. Elaborar el Plan Operativo Anual(POA) en base a las necesidades de la comunidad presentandolo a sus respectivas instancias en la Red.																				



ANEXO II

LISTA DE EXPERTOS JAPONESES Y MISIONES DE TERCEROS PAISES

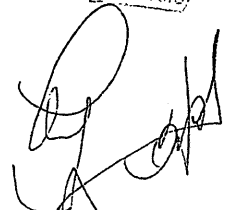
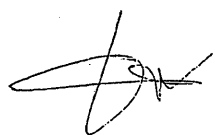
Un Jefe Asesor en Salud Materno Infantil (líder de expertos de JICA)

Un Coordinador

Expertos Japoneses de Corto Plazo y Misiones de Terceros Países (ejemplo):

- (1) Experto en la Atención de Partos
- (2) Experto del Sistema de Salud Regional
- (3) Experto Médico Obstetra

Ambos lados serán responsables del planeamiento adicional de expertos de corto plazo y de misiones de terceros países.



ANEXO III.

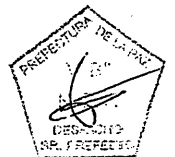
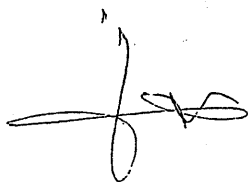
LISTA DE MAQUINARIA Y EQUIPO

Equipamiento de las Redes de Salud 1 y 2

Equipamiento Materno Infantil

Equipamiento necesario para la complementación del Centro de Salud Piloto

Equipamiento en otras áreas relacionadas cuya necesidad será acordada mutuamente



ANEXO IV:

LISTA DE CONTRAPARTE BOLIVIANA Y PERSONA DE APOYO

1. Líder del Proyecto

Director de SEDES
Presidente de DILOS La Paz
Director de la Dirección Municipal de Salud
Gerentes de las Redes 1 y 2
Director del Centro de Salud Piloto
Comité de Vigilancia

2. Coordinadora del Proyecto

Jefe de la Unidad Sistemas Distritales de Salud
Responsable de Enfermeras de las Redes 1 y 2
Personal del Centro de Salud Piloto

3. Experto del Sistema de Salud Regional

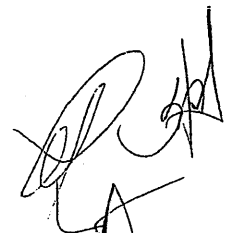
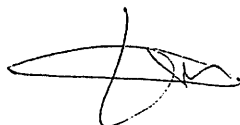
Personal del Sector Planificación de SEDES
Director de la Dirección Municipal de Salud
Responsable de Epidemiología de las Redes 1 y 2
Personal del Centro de Salud Piloto

4. Personal de la Dirección Municipal de Salud de La Paz

5. Personal de SEDES de La Paz

6. Personal de APOYO:

- (1) Secretaria
- (2) Chófer
- (3) Otro personal del apoyo



ANEXO V:

LISTA DE INFRAESTRUCTURA E INSTALACIONES

Instalaciones necesarias para la ejecución del Proyecto

Instalaciones y servicios tales como teléfono, línea de internet y muebles necesarios para las actividades del Proyecto

-Línea de Teléfono

-Línea de Internet

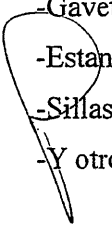
-Escritorios

-Gaveta

-Estantería

-Sillas

-Y otros



ANEXO VI :

COMITE DE COORDINACION CONJUNTA Y COMITE DE DIRECCION

1. Comité de Coordinación Conjunta

1.1. Funciones

El Comité de Coordinación Conjunta se reunirá por lo menos tres veces al año, y cuando sea necesario.

Las funciones serán:

- 1.1.1. Revisión y ajuste del Plan Anual de Cooperación del Proyecto en mención con la Matriz del Diseño del Proyecto (MDP), de recursos para el Proyecto y el Plan de Operaciones formulado bajo el marco de trabajo en la Minuta de Reuniones para la ejecución del Proyecto.
- 1.1.2. Coordinación de acciones necesarias a tomar por ambas partes.
- 1.1.3. Revisión global del progreso del MDP y el Plan de Operaciones.
- 1.1.4. Intercambio de puntos de vista sobre asuntos de mayor importancia derivados ó en conexión con el MDP y el Plan de Operaciones.

1.2. Composición

- 1.2.1. Presidente : Viceministro de Salud, Ministerio de Salud y Deportes
- 1.2.2. Vicepresidente : Alcalde Municipal de La Paz, Líder de Expertos de JICA
- 1.2.3. Miembros del Comité

Por parte de Bolivia:

- a) Presidente DILOS La Paz
- b) Director SEDES La Paz
- c) Director Dirección Municipal de Salud
- d) Representante del Comité de Vigilancia
- e) Gerentes de Redes 1 y 2 de La Paz
- f) Presidente del Directorio del Complejo Hospitalario Miraflores
- g) Director del Hospital de la Mujer
- h) Director del Hospital del Niño
- i) Director del Hospital La Paz

Por parte de Japón:

- a) Expertos de JICA
- b) Representantes Residentes de JICA
- c) Otro personal vinulado a ser designado y o enviado por JICA, si es necesario.



2. Comité de Dirección

2.1. Funciones

El Comité de Dirección se tendrá que reunir dos veces al mes.

Las funciones se enumeran a continuación:

- 2.1.1. Revisión, planificación y coordinación de las actividades del Proyecto.
- 2.1.2. Comunicación e intercambio de asuntos importantes del o en conexión con el Proyecto.

2.2. Composición

2.2.1. Presidente: Presidente de DILOS La Paz

2.2.2. Vicepresidente: Director de SEDES La Paz, Representante del Comité de Vigilancia, Jefe Asesor de Expertos de JICA

2.2.3. Miembros del Comité:

Por parte de Bolivia:

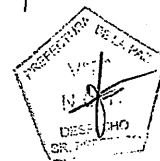
- a) Director de la Dirección Municipal de Salud
- b) Director de la Unidad de Sistemas Distritales de Salud
- c) Gerentes de las Redes 1 y 2
- d) Director del Hospital La Paz
- e) Representante del Comité de Profesionales del Area Piloto
- f) Director y Jefe de Enfermería del Centro de Salud Piloto
- g) Jefe de Planificación de SEDES La Paz

Por parte de Japón:

- a) Expertos de JICA
- b) Otro personal vinculado a ser designado y/ o enviado por JICA, si es necesario.

Observador

- a) Personal del Ministerio de Salud y Deportes
- b) Presidente del Directorio del Complejo Hospitalario Miraflores
- c) Director del Hospital de la Mujer
- d) Director del Hospital del Niño
- e) Gerentes de Otras Redes de La Paz
- f) Personal del Hospital La Paz
- g) Personal del Hospital Materno Infantil de CNS (Caja Nacional de Salud)
- h) Personal de las Redes 1 y 2
- i) JOCV
- j) Otro personal invitado por el Comité, si es necesario



4. 実施協議ミニッツ（和訳）

（ミニッツ和訳）

ラパス市母子保健に焦点を当てた地域保健ネットワーク強化プロジェクト 国際協力機構とボリビア政府の協議覚え書き

国際協力機構（以下、JICA）は、事務所所長である永井和夫によって、技術協力プロジェクト「ラパス市母子保健に焦点を当てた地域保健ネットワーク強化プロジェクト」に関し、現状を分析した。

JICA はボリビア政府関係者（以下、ボリビア側関係者）とプロジェクト開始に当たり協議
通じ意見交換を行い、同意書のとおり合意した。

協議結果として、1978年3月22日に日本とボリビア共和国間で署名した技術協力協定に
従い、JICA とボリビア側関係者は付属文書のとおり合意した。

ラパス 2003年12月23日

Ing.永井和夫
JICA ボリビア事務所
所長

Dr.Fernando Antezana
ボリビア保健スポーツ省
大臣

Sr.Nicolás Quenta
ラパス県
知事

Dr.Erick Machicao
ラパス県
保健局長

Dr.Juan del Granado
ラパス市
市長

Dr.Edgar Tórrez
ラパス地域保健委員会 (DILOS)
委員長

Sr.Hector Arce Leñez

住民監視委員会

代表

Lic.Luis Arnal

大蔵省

公共投資国際金融次官

付属文書

I. 日本とボリビアの協力

1. ボリビアは日本が実施する「ラパス市母子保健に焦点を当てた地域保健ネットワーク強化」プロジェクトに協力する。
2. プロジェクトはプロジェクト概要に基づき、別添1のマスタープランおよびPDM、2年間の暫定実施計画に沿って実施される。

II. 日本側協力方針

両者は日本政府により行われる次のような協力方針について合意した（日本における法律及び規則に基づき、通常の技術協力手続きに乗取ってJICAを通じた次のような協力を実施する）。

1. 日本人専門家及び第三国専門家派遣

JICAは、別添2のとおり、日本人専門家及び第三国専門家を派遣する。

2. 機材供与

JICAは、別添3のとおりプロジェクト実施に必要な資機材等（以下、機材）を供与する、規定は協定第9条の機材を適用する。

3. ボリビア側人材の研修

プロジェクトに関係するボリビア側人材の研修を日本または第3国で実施する。

III. ボリビア側協力方針

両者はラパス市及びDILOSを通して、ボリビア政府による次のような協力方針について決定した。

1. ラパス市及びDILOS ラパスは、別添4のように技術・事務及び補助スタッフのサービスを提供する。
2. ラパス市及びDILOS ラパスは、別添5のように事務所及び施設、機材用の物理的スペースを提供する。
3. ラパス市及びDILOS ラパスは、プロジェクトの運営を確実にするために、また技術協力の実施中及び実施後の支援となるように、政府関係者、全ての受益者・関係機関による積極的な参加を通じた次のような方策をとる。
4. ラパス市及びDILOS ラパスは協定第4条に基づき、ボリビア人材が得た日本の技術協力による知識と経験を、市経済と社会の発展に貢献できるよう必要な処置をとる。
5. ボリビア政府は協定第5・6条にあるように、前述II-1にある日本人専門家及びその家族に関し、特恵、免除及び便宜を供与する。
6. ラパス市とDILOS ラパスは協定第9条にあるように、JICAが供与する機材・前述II-2にある日本人専門家が供与する必要な機材に関し、引き続き使用する。
7. ラパス市及びDILOS ラパスは、ボリビア人材が得た技術、研修による知識と経験を本プロジェクトの実施に効果的に用いることが確保されるよう、必要な処置をとる。
8. ラパス市とDILOS ラパスは、前述II-2に従いJICAが提供する機材とは別に、ボリビア共和国の現在の法規に従い、自らの予算によりプロジェクトの実施に必要な

資機材及び関連器具、車両、道具、部品等を供給または交換するために必要な処置をとる。

9. ラパス市と DILOS ラパスは、ボリビア共和国の現在の法規に従い、プロジェクトが求める管理及び運営に関して必要な処置をとる。

IV. プロジェクト運営体制

両者は、プロジェクト運営体制に関し以下のように決定した。

1. 保健スポーツ次官は、プロジェクトのスーパーバイザーとしてプロジェクトの展開を見守りかつそのスタッフの活動に対し必要な助言を行う責任を有する。
2. ラパス県保健局（以下、SEDES ラパス）局長は、プロジェクトのスーパーバイザー補として、プロジェクトの展開を見守りかつそのスタッフの活動に対し必要な助言を行う責任を有する。
3. ラパス市長はプロジェクトダイレクターとして、プロジェクトの全ての責任を負う。
4. DILOS ラパス委員長は、プロジェクト管理者として、プロジェクト実施全般における運営、技術面の責任を負う。
5. 地域保健ネットワーク 1 及び 2 の長は、プロジェクト活動の企画、実施、モニタリング及び評価の責任者として、プロジェクト実施における運営、技術面の責任を負う。
6. JICA 専門家リーダー及び（または）JICA ボリビア事務所長及び（または）JICA が派遣する調査団は、プロジェクト実施に関する様々な側面について、必要な助言、指導、要求をプロジェクトダイレクター及びプロジェクト管理者に与える。
7. 日本人専門家、第三国専門家及び JICA 調査団はプロジェクトの実施に関係した技術事項について、ボリビア側 C/P スタッフに技術指導を行う。

8. JICA 人材のボリビア側 C/P

8.1. JICA 専門家及び第三国専門家はラパス市保健局にオフィスを構えるとともに、DILOS ラパス委員長及びネットワーク 1 及び 2 の長を、C/P とする。

8.2. これら C/P は、プロジェクトの実施期間中、必要に応じてその職を保障されなければならない。

9. プロジェクトの技術協力の効果的かつ成功裏の実施を行うために、構成された合同調整委員会及び実施委員会は、別添 6 のとおりそれぞれの役割を定める。

V. 協力期間

調査団とボリビア側関係者はプロジェクト協力期間について下記の期間を提言した。

1. 付属文書に述べるプロジェクトの協力期間は、2004 年 1 月 1 日から 2005 年 12 月 31 日までの 2 年間とする。

別添資料

別添 1. マスタープラン

別添 2. 日本人専門家及び第三国専門家

別添 3. 機材供与

別添 4. カウンターパート及びボリビア側人材

別添 5. インフラ及び設備

別添 6. 合同調整委員会及び実施委員会

別添1 プロジェクト概要

プロジェクト名 ラパス市母子保健に焦点を当てた地域保健ネットワーク強化プロジェクト (Proyecto de Fortalecimiento de Redes de Salud - Mejoramiento de Salud Materno Infantil en el Municipio de La Paz)

実施期間 2年間

実施機関 ラパス市、ラパス地域保健委員会 (DILOS)、保健ネットワーク 1 及び 2

直接対象者 ラパス市保健ネットワーク 1 及び 2 の 1 次医療サービス従事者

間接対象者 同ネットワーク 1 及び 2 の住民

上位目標 ラパス市の母子の健康状態が改善される。

プロジェクト目標 ラパス市の保健ネットワーク 1 及び 2 の 1 次レベルの保健医療サービスが、母子保健分野を中心に改善される。

期待される成果 1. ラパス市の保健ネットワーク 1 及び 2 における母子に対するケアの質が向上する。
2. パイロット保健センターにおける母子保健活動が住民参加のもと強化される。

活動

- 1-1. パイロット保健センターが、提供しているケアの質についての課題を認識する。
 - 1-1-1. 現在提供している出産のケアの質に関する調査を行う。
 - 1-1-2. ケアの質に関する職員の認識に関する調査を行う。
 - 1-1-3. 調査結果から必要なトレーニングを企画する。
- 1-2. 第 1 及び第 2 保健ネットワークにおいて、妊娠・出産時(特に分娩第 1 期)のケアのトレーニングを行う。
 - 1-2-1-1. パイロット保健センターにおいて、保健スポーツ省・県保健局が定めた妊婦健診の状況を確認する。
 - 1-2-1-2. 実践状況に基づき、妊婦健診改善のためのセミナーを開催する。
 - 1-2-1-3. セミナー開催後フォローアップトレーニングを行う。
 - 1-2-2-1. パイロット保健センターの出産のケアの質の状況に基づき(1-1)、出産ケアのためのセミナーを開催する。
 - 1-2-2-2. 出産ケアのセミナー開催後のフォローアップトレーニングを行う。
 - 1-2-2-3. 出産ケアのトレーニング後の評価を定期的に行う。
- 1-3. 第 1 及び第 2 保健ネットワークにおいて、新生児ケア・母乳育児支援のトレーニングを行う。
 - 1-3-1. 妊娠期から出産後 1 ヶ月までの新生児ケア・母乳育児支援の実践状況を確認する。
 - 1-3-2. 実践状況に基づき、新生児ケア・母乳育児支援のセミナーを開催する。
 - 1-3-3. セミナー開催後のフォローアップ研修を行う。
 - 1-3-4. トレーニング結果の評価を定期的に行う。
- 1-4. 実施されたトレーニングに対するモニタリング・評価フローを作成し、実施する。

- 1-5. 第1及び第2保健ネットワーク内の1次医療施設が有する機材のインベントリが行われ、それらの使用が適正化される。
 - 1-5-1.各保健ネットワーク管理部門が、現在の第1及び第2保健ネットワーク内の1次医療施設が有する機材のインベントリを確認する。
 - 1-5-2.各保健ネットワーク管理部門が機材の保守・整備に関する現行のシステムを利用し、機材の保守・整備を行う。
- 2-1. パイロット保健センターが、地域住民の健康状態とサービスの現状について課題を認識する。
 - 2-1-1.パイロット保健センターが、地域住民の健康状態に関する調査を行う。
 - 2-1-2.パイロット保健センターが、地域特性を把握する。
 - 2-1-3.パイロット保健センターが、住民の保健行動について把握する。
 - 2-1-4.パイロット保健センターが、担当地域の保健リソースを把握する。
 - 2-1-5.パイロット保健センターが、調査結果に基づき地域の課題分析を行う。
 - 2-1-6.課題分析をもとに、年間活動計画の見直しをする。
- 2-2. パイロット保健センターが、女性と子供に関する地域保健集会を開く。
 - 2-2-1.母子保健に関わる住民組織との定期会議を持つ。
 - 2-2-2.地域課題分析結果を住民と共有し、母子保健活動を企画する。
- 2-3. 地域保健集会で提案された母子保健に関する活動を実現する。
- 2-4. パイロット保健センターが既存の健康教育機材を整理し、住民への啓発活動に用いる。
 - 2-4-1.パイロット保健センターが有する健康教育機材を登録する。
 - 2-4-2.提案された地域保健活動に必要な教材を整備する。
- 2-5. 地域保健集会及び住民参加活動に対するモニタリング・評価の仕方について、パイロット保健センターが試行モデルを作成する。
- 2-6. 試行モデルに基づいて実施したモニタリング・評価結果を、DILOS 及び保健ネットワークレベルで発表する。
- 2-7. パイロット保健センターが住民のニーズに基づいた年間計画(POA)を作成し、保健ネットワークへ提出する。

別添に付属した活動計画へ続く

<p>プロジェクトタイトル: ラパス市母子保健に焦点をあてた地域保健ネットワーク強化 Título: Proyecto de Fortalecimiento de Redes de Salud - Mejoramiento de Salud Materno Infantil en la ciudad de La Paz</p> <p>期間: 2年間 Periodo: 2 años</p>	<p>対象グループ: 1次医療施設の職員とモデル保健ネットワーク住民 Grupo Objetivo: Funcionarios institucionales del primer nivel, habitantes del área modelo de las Redes 1 y 2.</p> <p>対象地域: ラパス市保健ネットワーク1・2 área objetivo: Redes de Salud 1 y 2 de la ciudad de La Paz</p> <p>プロジェクト実施機関: ラパス市保健委員会、保健ネットワーク1・2 Ejector: Alcaldía Municipal de La Paz, Red 1 y Red 2 de la ciudad de La Paz</p>	<p>バージョン: 0 日付: 2003.12.23</p>
<p>プロジェクトの要約 Resumen del Proyecto</p> <p>ラパス市の母子の健康状態が改善される。 Mejorar salud materno infantil en la ciudad de La Paz</p>	<p>指標 Indicadores</p> <p>妊産婦死亡率 602/10万 (2001年ラパス県) →542/10万 Mortalidad materna 602/100,000 (2001 Depto. La Paz) / cien mil nacidos vivos →542/cien mil nacidos vivos</p> <p>乳幼児死亡率 86/千 (2001年ラパス県) →77/千 Mortalidad infantil 86/mil nacidos vivos (2001. Depto. La Paz) →77/ mil nacidos vivos</p>	<p>制限条件・外部要因 Limitaciones y factores externos</p>
<p>【プロジェクト目標】 ラパス市の第1及び第2保健ネットワークの1次レベルの保健医療サービスが母子保健分野を中心に改善される。 Mejorar los servicios de salud de primer nivel en la Red 1 y 2 de Salud de la ciudad de La Paz, en torno al sector de salud materno infantil.</p>	<p>妊産婦死亡率4回またはそれ以上実施した率 Porcentual de gestantes que realizaron 4 o más consultas prenatales Red1 55%(2001) →60% Red2 44% →48%</p> <p>妊産婦担当地区実施率 Cobertura de prenatal Red1 38%(2001) →50% Red2 47%(2001) →52%</p> <p>2歳以下の乳幼児健診担当地区実施率 Cobertura de primer control crecimiento y desarrollo menores de 2 años Red1 36%(2001) →39% Red2 46%(2001) →50%</p> <p>施設内分娩総数の1次医療施設が占める割合 Porcentaje de parto institucional que ocupa los centros de salud de primer nivel. Red1 11%(2001) → 11.2 % Red2 27%(2001) →27.1%</p>	<p>国家保健情報システムデータ Datos de INE</p> <p>ラパス県保健局データ Datos de SNIS</p> <p>保健ネットワーク1・2データ Datos de Redes de Salud 1 y 2</p> <p>パイロット保健センターデータ Datos de Centro de Salud piloto</p>
<p>【成果】 1. ラパス市の第1及び第2保健ネットワークにおける母子に対するケアの質が向上する。 1. Se mejora la calidad de servicios de salud materno infantil en la Red 1 y 2 de Salud de la ciudad de La Paz.</p> <p>2. パイロット保健センターにおける母子保健活動が住民参加のもと強化される。 Se fortalecen las actividades de salud materno infantil con la participación comunitaria en Centros de Salud Piloto.</p>	<p>WHOの出産に関する勧告に基づいた出産に関するサービスの実施程度 Nivel de partos realizados según lo que indica la OMS (Ghanaesol)</p> <p>利用者のサービス満足度 Satisfacción de los usuarios</p> <p>住民からの提案が取り入れられた母子保健活動 Realización de propuestas en relación con la salud materno infantil hechas por la comunidad.</p>	

【活動】 Actividades	【投入】 Inversión	CP
1-1. パイロット保健センターが、提供しているケアの質についての調査を実施する。Ponencia en Tema sobre la calidad de atenciones prestadas en el centro de salud piloto.	日本 【専門家】 母子保健チーフアドバイザー	ラパス市長
1-2. 第1および第2保健ネットワークにおいて、妊娠・出産時（特に分娩第1期）のケアのトレーニングを行う。	Jefe asesor de salud materno infantil	Alcalde Municipal de La Paz
Realizar entrenamientos para atención durante la gestación y parto (especialmente primera etapa de parto) en las Redes de Salud 1 y 2.	Coordinador de salud	ラパス市地域保健委員会委員長
1-3. 第1および第2保健ネットワークにおいて新生児ケア・母乳育児支援についてのトレーニングを行う。	Expertos de corto plazo	Presidente de DILOS La Paz
Realizar entrenamientos sobre la atención neonatal y apoyo a la lactancia materna en las Redes 1 y 2.	第3回専門家	ラパス市保健局長
1-4. 実施されたトレーニングに対するモニタリング・評価フローを作成し、実施する。	Misiones de tercer país	Director de SEDES La Paz
Elaborar y ejecutar el flujoograma de monitoreo y la evaluación sobre entrenamientos realizados.	Unidad sistema de salud La Paz	ラパス市保健局長
1-5. 実施されたモニタリング・評価に基づき、受講者に対する継続的なフォローを行える体制を整える。	Representante de Comité de Vigilancia	ラパス市保健システム課長
Implementar un sistema de seguimiento continuo de los entrenados, de acuerdo al monitoreo y la evaluación ejecutados.	保健ネットワーク代表	Unidad sistema de salud La Paz
1-6. 第1及び第2保健ネットワーク内の1次医療施設が有する機材のインベントリーが行われ、それらの使用が適正化される。	Gerente de Redes de Salud	住民監視委員会委員長
Realizar el inventario de los equipos médicos de centros médicos de primer nivel de las Redes 1 y 2 para adecuar su utilización.	モデル保健センター院長	Representante de Comité de Vigilancia
2-1. パイロット保健センターが、地域住民の健康課題とサービスの現状について課題を認識する。	Director de Centro de Salud pilot	保健ネットワーク代表
Identificar el tema referente a la situación actual de salud de los habitantes locales y de la prestación de su servicio por medio del centro de salud piloto.	Gerente de Comité de población	Gerente de Redes de Salud
2-2. パイロット保健センターが、地域住民と女性と子供に関する地域保健委員会イベントを開く。	ドップラーDoppler	モデル保健センター
Realizar reuniones y eventos en relación al tema materno infantil en el centro de salud piloto.	血圧計Tensión metro	Director de Centro de Salud pilot
2-3. パイロット保健センターにおいて、地域住民から提案された母子保健に関する集会やイベントを実施する。	乳児体重計Balanza	モデル地区住民代表
Realizar reuniones y eventos en la comunidad sobre el tema de materno infantil en el centro de salud piloto.	医療器材滅菌機Esterilizador	Gerente de Comité de población
2-4. パイロット保健センターが、既存の健康教育機材を整理し、住民への啓発活動に用いる。	インフュージョン	【機材供与】 Equipamiento
Ordenar material didáctico existente para la salud y utilizarlo para las actividades de concientización y educación comunitaria en el centro de salud piloto.	【調達条件】 ・ボリビア政府による母子保健に対する大幅な財政変更が持たれない ・地域保健システム（地域保健委員会(DILOS)）一保健ネットワークが大きく変更されない	ドップラーDoppler
2-5. 地域保健委員会及び住民参加活動に対するモニタリング・評価の仕方について、パイロット保健センターが試行モデルを作成する。	El gobierno de Bolivia no realiza cambio notorio de políticas de salud materno infantil.	血圧計Tensión metro
Elaborar un modelo de ensayo sobre la manera de monitorear, evaluar las reuniones, los eventos de salud y actividades participativas comunitarias.	No se cambia notoriamente tanto el sistema administrativo de salud focal (DILOS) como la Red de servicio de salud.	乳児体重計Balanza
2-6. 試行モデルに基づいて実施したモニタリング・評価結果を、DILOS及び保健ネットワークヘルド発表する。	Presentar los resultados de monitoreo y evaluaciones realizadas en base al modelo de ensayo, en nivel de DILOS y Redes de Salud.	医療器材滅菌機Esterilizador
Presentar los resultados de monitoreo y evaluaciones realizadas en base al modelo de ensayo, en nivel de DILOS y Redes de Salud.	2-7. パイロット保健センターが住民のニーズに基づいた年間計画（POA）を作成し、保健ネットワークへ提出する。	インフュージョン
Elaborar el Plan Operativo Anual (POA) en base a las necesidades de la comunidad presentándolo a sus respectivas instancias de la Red.		

活動計画表 (Planificación Operativa)

プロジェクトタイトル: ポリビア国ラパス県ラパス市母子保健に焦点をあてた地域保健ネットワーク強化
 Título de Proyecto: Proyecto de Fortalecimiento de Redes de Salud-Mejoramiento de Salud Materno Infantil en la Ciudad de La Paz

対象地域: ラパス市保健ネットワーク1・2

Area Objetiva: Redes de Salud 1 y 2 de la ciudad de La Paz

対象グループ: 1次医療施設の職員とモデルネットワーク住民

Grupo Objetivo: Funcionarios institucionales de primer nivel, habitantes de area modelo de Redes

期間: 2年間

Periodo: 2 años

プロジェクト目標: ラパス市の第1及び第2保健ネットワークの1次レベルの保健医療サービスが母子保健分野を中心に改善される。
 Objeto del Proyecto: Mejorar los servicios de salud del primer nivel en las Redes 1 y 2 de Salud de la ciudad de La Paz, en torno al sector de salud materno infantil

期待される成果:

1. ラパス市の第1及び第2保健ネットワークにおける母子に対するケアの質が向上する。
1. Se mejora la calidad de servicios de salud materno infantil en las Redes 1 y 2 de Salud de la ciudad de La Paz
2. パイロット保健センターにおける母子保健活動が住民参加のもと強化される。
2. Se fortalecen las actividades de salud materno infantil con la participación comunitaria

活動 Actividades	1年目			2年目			
	Ene - Mar	Abr - Jun	Jul - Sep	Ene - Mar	Abr - Jun	Jul - Sep	Oct - Dic
1-1.パイロット保健センターが提供しているケアの質についての課題を認識する。 Identificar el tema sobre la calidad de atención prestada en el centro de salud piloto.							
1-1-1. 現在提供している出産のケアの質に関する調査を行う。 Realizar la investigación de la calidad de atención que los funcionarios prestan en el centro de salud piloto.	↑						
1-1-2. ケアの質に関する職員の認識に関する調査を行う。 Realizar la investigación de la calidad de atención que los funcionarios reconocen	↑						
1-1-3. 調査結果から必要なトレーニングを企画する。 Planificar entrenamiento necesario utilizando los resultados obtenidos.	↑						
1-2. 第1および第2保健ネットワークにおいて、妊娠・出産時(特に分娩第1期)のケアのトレーニングを行う。 Realizar cursos de entrenamientos para la atención durante la gestación y el parto (especialmente en la primera etapa del parto) en las Redes de salud 1 y 2.							

1-2-1-1.パイロット保健センターにおいて、保健省・県保健局が定めた妊婦健診の実践状況を確認する。 Confirmar la situación del control prenatal que se realiza, en base a las normas establecidas por el Ministerio de Salud y Deportes y SEDES.	↑								
1-2-1-2.実践状況に基づき、妊婦健診改善のためのセミナーを開催する。 Realizar seminarios para la demostración de resultados obtenidos de la situación del control prenatal.	↑								
1-2-1-3.セミナー開催後フォローアップトレーニングを行う。 Realizar cursos de entrenamiento, una vez concluidos los seminarios.	↑								

活動 Actividades	1年目			2年目			segundo año		
	Ene - Mar	Abr - Jun	Jul - Sep	Ene - Mar	Abr - Jun	Jul - Sep	Oct - Dic	Oct - Dic	Oct - Dic
1-2-2-1.パイロット保健センターの出産のケアの質の状況に基づき(1-1)、出産ケア改善のためのセミナーを開催する。 En base a los resultados de la investigación 1-1, realizar seminarios para mejorar la atención de partos.			↑						
1-2-2-2.出産ケアのセミナー開催後のフォローアップトレーニングを行う。 Realizar cursos de entrenamiento sobre atención de partos, una vez concluido los seminarios.			↑						
1-2-2-3.出産ケアのトレーニング後の評価を定期的に行う。 Realizar la evaluación del entrenamiento continuamente.						↑			↑
1-3.第1および第2保健ネットワークにおいて、新生児ケア・母乳育児支援についてのトレーニングを行う。 Realizar cursos de entrenamiento sobre la atención neonatal y el apoyo a la lactancia materna en las Redes de Salud 1 y 2.									
1-3-1.妊娠後1ヶ月までの新生児ケア・母乳育児支援の実践状況を確認する。 Confirmar la situación de la atención neonatal y el apoyo a la lactancia materna desde la etapa de gestación hasta un mes después de nacido.		↑							
1-3-2.実践状況に基づき、新生児ケア・母乳育児支援のセミナーを開催する。 Realizar seminarios en base a los resultados obtenidos de la atención neonatal y el apoyo a la lactancia materna.			↑						

活動 Actividades	1年目				2年目			
	Ene - Mar		Abr - Jun		Jul - Sep		Oct - Dic	
	Ene - Mar	Abr - Jun	Jul - Sep	Oct - Dic	Ene - Mar	Abr - Jun	Jul - Sep	Oct - Dic
1-3-3.セミナー開催後のフォローアップ研修を行う。 Realizar cursos de entrenamiento una vez concluidos los seminarios.		↑						
1-3-4.トレーニング結果の評価を定期的に行う。 Realizar la evaluación del entrenamiento continuamente.				↑		↑		
1-4.実施されたトレーニングに対するモニタリング・評価フローを作成し、実施する。 Elaborar y ejecutar el flujoograma de monitoreo y evaluación de l entrenamiento realizado.		↑						
1-5.第1および第2保健ネットワーク内の1次医療施設が有する機材のインベントリーが行われ、それらの使用が適正化される。 Realizar inventarios de los equipos médicos de centros médicos de primer nivel de las Redes 1 y 2 para adecuar su utilización.								
1-5-1.各保健ネットワーク管理部門が、現在の第1および第2保健ネットワーク内の1次医療施設が有する機材のインベントリーを確認する。 Confirmar la situación de los inventarios realizados.		↑						
1-5-2.各保健ネットワーク管理部門が機材の保守・整備に関する現行のシステムを活用し、機材の保守・整備を行う。 Realizar el mantenimiento de equipos médicos en base a sistemas de mantenimiento.						↑		
2-1.パイロット保健センターが、地域住民の健康状態とサービスの現状について課題を認識する。 Identificar el tema referente a la situación actual de salud de los habitantes locales y de la prestación de su servicio por medio del centro de salud piloto.								
2-1-1.パイロット保健センターが、地域住民の健康状態に関する調査を行う。 Realizar la investigación de la condición de salud de la comunidad por medio del centro de salud piloto.	↑							

活動 Actividades	1年目			Primer año			2年目			segundo año			
	Ene - Mar	Abr - Jun	Jul - Sep	Ene - Mar	Abr - Jun	Jul - Sep	Ene - Mar	Abr - Jun	Jul - Sep	Ene - Mar	Abr - Jun	Jul - Sep	Oct - Dic
	2-1-2.パイロット保健センターが、地域特性を把握する。 Comprender las características del área del centro de salud piloto.	↑											
2-1-3.パイロット保健センターが、住民の保健行動について把握する。 Comprender el comportamiento de la población en lo que se refiere a salud por medio del centro de salud piloto.	↑												
2-1-4.パイロット保健センターが担当地域の保健リソースを把握する。 Comprender los recursos de salud involucrados en la zona a cargo del centro de salud piloto.	↑												
2-1-5.パイロット保健センターが、調査結果に基づき地域の課題分析を行う。 Analizar el tema en base a los resultados de la investigación realizada en el centro de salud piloto.		↑											
2-1-6.課題分析をもとに、年間活動計画の見直しをする。 Revisar el POA en base al análisis del tema.			↑										
2-2.パイロット保健センターが、女性と子どもに関する地域保健集会を開く Realizar reuniones y eventos en relación al tema materno infantil en el centro de salud piloto.			↑										
2-2-1.母子保健に関わる住民組織との定期会議をもつ。 Realizar continuamente reuniones con la comunidad en las cuales se tomará el tema materno infantil.			↑										
2-2-2.地域課題分析結果を住民と共有し、母子保健活動を企画する。 Planificar las actividades de salud materno infantil en base a los resultados de los análisis que se obtengan y hacerlos saber a la comunidad.													↑
2-3.地域保健集会で提案された母子保健に関する活動を実現する。 Realizar reuniones y eventos propuestos por la comunidad sobre el tema materno infantil en el centro de salud piloto.													↑

<p>2-4-パイロット保健センターが既存の健康教育教材を整理し、住民への啓発活動に用いる。</p>															
<p>Ordenar el material didáctico existente para la salud y utilizarlo para las actividades de concientización y educación comunitaria en el centro de salud</p>															
<p>2-4-1.パイロット保健センターが有する健康教育教材を登録する。 Registrar el material didáctico existente en el centro de salud piloto.</p>															
<p>2-4-2.提案された地域保健活動に必要な教材を整備する。 Conservar el material didáctico necesario para ser utilizado en actividades propuestas por la comunidad.</p>															
<p>2-5.地域保健集会及び住民参加活動に対するモニタリング・評価の仕方について、パイロット保健センターが試行モデルを作成する。 Elaborar un modelo de ensayo sobre la manera de monitorear y evaluar las reuniones, los eventos de salud y actividades participativas comunitarias.</p>															
<p>2-6.実施したモニタリング・評価結果を、DILOS及び保健ネットワークレベルで発表する。 Presentar los resultados de monitoreos y evaluaciones realizadas en base al modelo de ensayo en nivel de DILOS y Redes de Salud.</p>															
<p>2-7.パイロット保健センターが住民のニーズに基づいた年間計画を作成し、保健ネットワークへ提出する。 Elaborar el Plan Operativo Anual(POA) en base a las necesidades de la comunidad presentándolo a sus respectivas instancias en la Red.</p>															

別添2 日本人専門家および第三国専門家リスト

母子保健に関するチーフアドバイザー（JICA 専門家リーダー）

業務及び活動に関するコーディネーター

日本人短期専門家及び第三国専門家に関しては、例えば、次のような者になる。

- (1) 助産ケア
- (2) 地域医療行政
- (3) 産科医

両者は短期専門家及び第三国専門家の追加的プランニングについて責任を持つ。

別添3 機材供与

第1・第2保健ネットワークの機材

母子保健センターの機材

パイロット保健センターに欠かせない必要な機材

その他関係のあるエリアで、互いに必要と思われる機材

別添4 カウンターパートと人的支援

1. プロジェクトリーダー

ラパス県保健局長

DILOS ラパス委員長

ラパス市保健局長

第1・第2保健ネットワーク代表

パイロット保健センター長

住民監視委員会

2. 保健コーディネーター

ラパス市保健システム課長

第1・第2保健ネットワーク看護担当責任者

パイロット保健センター人材

3. 地域医療行政担当専門家

ラパス県保健局保健計画課人材

ラパス市保健局長

第1・第2保健ネットワーク疫学担当責任者

パイロット保健センター人材

4. ラパス市保健局の人材

5. ラパス県保健局の人材

6. その他人的支援

(1) 秘書

(2) 運転手

(3) その他の人的支援

別添5 施設設備とインフラ整備

プロジェクト実施に必要な設備

プロジェクトの活動に必要な設備と以下に挙げるサービス、電話、インターネットライン、必要な家具等

- ・ 電話線
- ・ インターネットライン
- ・ 机
- ・ 書類棚
- ・ 本棚
- ・ イス
- ・ その他

別添6 合同調整委員会及び実施委員会

1. 合同調整委員会

1.1. 機能

合同調整委員会は1年に少なくとも3回、また必要に応じて開催される。

役割は次のとおり：

- 1.1.1. 実施に関するミニッツの枠組みのもと、PDMに伴う年間計画、人材、運営計画などの見直しや調整
- 1.1.2. 両者がとるべき必要な活動の調整
- 1.1.3. PDM及びPOの進捗に関する全体的な見直し
- 1.1.4. PDM及びPOに関係した、または派生した重要な事項に関する見解の交換

1.2. 構成

議長：保健スポーツ省保健次官

副議長：ラパス市長、JICA 専門家リーダー

ボリビア側：

- 1) ラパス市地域保健委員会 (DILOS) 委員長
- 2) ラパス県保健局 (SEDES) 局長
- 3) ラパス市保健局長
- 4) 住民監視委員会代表
- 5) 第1及び第2保健ネットワーク代表
- 6) ミラフローレス複合病院群委員会委員長
- 7) 婦人病院長
- 8) 子供病院長
- 9) ラパス病院長

日本側：

- 1) JICA 専門家
- 2) JICA ボリビア事務所代表
- 3) 必要に応じて、JICAにより指名される（または）派遣される関係者

2. 実施委員会

2.1. 機能

実施委員会は少なくとも1ヶ月に2回実施されなければいけない。

実施委員会の役割は次のとおり：

2.1.1. プロジェクト活動の見直し、企画及び調整

2.1.2. プロジェクトに関係した、またはプロジェクトから発生した重要な事項に関する情報伝達や交換

2.2. 構成

議長：DILOS ラパス委員長

副議長：SEDES ラパス局長、住民監視委員会代表、JICA 専門家リーダー

ボリビア側：

- 1) 市保健局長
- 2) 市保健局システム課長
- 3) 第1及び第2保健ネットワーク代表
- 4) ラパス病院長
- 5) 第1及び第2保健ネットワーク医療施設長代表
- 6) パイロット施設長及び看護師長
- 7) 県保健局計画課長

日本側：

- 1) プロジェクト専門家
- 2) 必要に応じて、JICAにより指名される（または）派遣される関係者

オブザーバー：

- 1) 保健スポーツ省関係者
- 2) ミラフローレス複合病院群委員会委員長
- 3) 婦人病院長
- 4) 子供病院長
- 5) ラパス市内他の保健ネットワーク代表
- 6) ラパス病院関係者
- 7) CNS 母子病院関係者
- 8) 第1及び第2保健ネットワーク関係者
- 9) 青年海外協力隊員
- 10) 必要に応じ、実施委員会によって招待された者